

セットアップマニュアル Vex (Vulnerability Explorer)

UBsecure Inc. 2021-02-25

Version. 9.1.0.0

目次

1. はじめに	1
1.1. インストール、及びバージョンアップ手順に関して	1
1.2. バージョンアップに関して	1
1.3. 本書の位置付け	1
2. 動作環境	3
2.1. Vexインストールサーバ	3
2.2. クライアント端末	4
2.3. アプリケーション構成	4
2.3.1. Vex本体のプログラムフォルダ	4
2.3.2. Vex検査のデータフォルダ	4
2.3.3. Vexセットアップ時のログフォルダ	5
3. Vex本体プログラムのダウンロード	6
3.1. セットアップモジュールの起動	7
4. 新規インストールの手順	9
4.1. 新規インストールの実行	9
4.2. 初期パスワードの変更	14
4.2.1. 管理者ログイン画面の表示	15
4.2.2. ログインの実施	16
4.2.3. 初期パスワードの変更	16
5. Vexライセンスの登録	17
5.1. Vex管理画面へのログイン	17
5.1.1. 管理者ログイン画面の表示	17
5.1.2. ログインの実施	18
5.2. ベースライセンス(管理アカウント)の登録	18
5.3. ユーザライセンス(ユーザアカウント)の登録	19
5.4. 初期パスワードの変更	21
5.4.1. ユーザログイン画面の表示	21
5.4.2. ログインの実施	22
5.4.3. 初期パスワードの変更	22
6. Internet Explorerの設定	24
6.1. アクティブスクリプトの設定確認	24
7. Windowsファイアウォールの設定	28
7.1. Windows 8.1をご利用の場合	29
7.2. Windows 10をご利用の場合	39
7.3. Windows Server 2012をご利用の場合	48
7.4. Windows Server 2016をご利用の場合	53
7.5. Windows Server 2019をご利用の場合	60
8. バージョンアップの手順	67
8.1. バージョンアップの実行	68
8.2. バージョンアップ後の確認作業	71
9. Vex Controllerについて	72
9.1. 起動方法	72
9.2. Vex Controller操作画面	74
10. その他の設定	77
10.1. Vex最大利用メモリの設定	77
10.2. TomcatのPOSTデータ上限値の設定	80
10.3. PostgreSQLの設定値の変更	82
10.4. Beep音の設定	84
11. アンインストールの手順	87

12. セットアップ時のトラブルシューティング	
12.1. サポート対象外のバージョンからのバージョンアップ	
13. 他社商標について	

1. はじめに

本書は、Vulnerability Explorer(以下Vex)のインストール、およびバージョンアップ手順を説明した資料です。また、手順を実施される上での、注意点や確認事項などは以下のように記載しております。

√Check!

□インストール時の注意点、また確認していただきたい点などを記載します。

MEMO

・補足的な説明や、参考情報などを記載します。

1.1. インストール、及びバージョンアップ手順に関して

ご利用のOSにより、手順が一部異なる場合があります。 各OSでの操作に適宜、置き換えてご参照ください。

1.2. バージョンアップに関して

バージョンアップを行われる場合、本バージョンの2バージョン前まで が対象となります。 該当バージョンに合致しないバージョンからバージョンアップを行う場合は、「12.1サポート対象外の バージョンからのバージョンアップ」をご参照ください。

1.3. 本書の位置付け

Vexに関連する基本的なマニュアルは以下の通りです。

No	マニュアル名	目的	提供形式
1	セットアップ マニュアル	Vexを新規インストール、またはバージョンアップする方法	PDF
2	クイックスタート	Vexインストール後から、検査準備~検査実行までの基本的な 操作方法	HTML
3	ユーザガイド	各画面及び機能の詳細な説明	HTML

No	マニュアル名	目的	提供形式
4	FAQ トラブルシュート Handlerガイド	よくある質問に対する回答・トラブル・Handlerの設定方法に 対する 回答 ※GUI上「?」アイコンをクリックすることでご利用可能です 。 FAQサイト	ウィジェット 外部サイト
5	Vex-CLIガイド	Vexをコマンドライン上から操作する方法	PDF

※Vexのバージョンにより含まれるマニュアルが異なることがあります。

2. 動作環境

Vexの動作環境に関しては、以下をご確認ください。

2.1. Vexインストールサーバ

Vexインストールサーバには以下のマシンスペックが必要です。

CPU	1GHz 以上(2GHz以上 推奨)	
メモリ	2GB 以上	※自動巡回機能は 4GB以上 推奨
HDD	300GB以上(1プロジェクトの最大 サイズとして30GB程度、 10プロジェクトを保存できるサイ ズを想定)	※Vexの想定利用状況や検査対象 の仕様(検査対象リクエスト数やリ クエスト/レスポンスのサイズな ど)により必要となる容量は大きく 変化するため、あくまで目安とし てご認識ください。
動作確認済OS(日本語または英語 のみ)	Windows 8.1 Windows 10 Windows Server 2012 Windows Server 2016 Windows Server 2019	※ 64Bit版のProエディションのみ 動作確認

√Check!

- HDDの容量に関して 1プロジェクトあたり必要なディスク容量は1~10GB程度です。 大量の準備処理や前処理を必要とし、かつ大量のパラメータ数を持つ アプリケーションの検査時には、必要なディスク容量が増加します。
- 常駐型監視サービスに関して

VEXのインストール先にウイルス対策ソフト等の常駐型監視サービスが動作している場合、インス トールまたはバージョンアップの実行に失敗する可能性がございます。VEXのインストール(バージ ョンアップ)時は常駐型監視サービスの停止または常駐型監視サービスの無い環境でのインストール を推奨いたします。 Vexの操作画面にアクセスする際には、以下のブラウザのいずれかをご利用ください。

ブラウザ	Internet Explorer 11 Mozilla Firefox(最新版)
画面解像度	1366×768px以上を推奨

レポート、マニュアルを参照する場合、以下のアプリケーションが必要となります。

アプリケーション	Microsoft Word
	Microsoft Excel
	Adobe Acrobat Reader DC

2.3. アプリケーション構成

Vexは以下の3つのフォルダで構成されます。

2.3.1. Vex本体のプログラムフォルダ

<u>C:\Program Files\UBsecure\VEX</u>(デフォルト設定の場合)

主なフォルダ/ファイル名	説明
jre	Vexが利用するJava SE Runtime Environmentの格納フォルダ
tomcat	Vexが利用するApache Tomcatの格納フォルダ
pgsql	Vexが利用するPostgreSQLの格納フォルダ
Jabberwock	Vexアプリケーション本体の格納フォルダ
unins000.exe	Vexのアンインストーラ

2.3.2. Vex検査のデータフォルダ

<u>C:\VEX</u>(デフォルト設定の場合)

主なフォルダ/ファイル名	説明
customSignature	カスタムシグネチャの保管フォルダ
customSignatureSet	カスタムシグネチャセットの保管フォルダ
data12	PostgreSQLのデータフォルダ
log	Apache Tomcat等の各種ログの保管フォルダ
project	検査プロジェクトのデータフォルダ

MEMO

・本フォルダは、Vexアンインストール時に削除されません。

2.3.3. Vexセットアップ時のログフォルダ

<u>C:\vex_install_log</u>

MEMO

- ・インストール、バージョンアップ時のログが保存されます。
- ・本フォルダは、Vexアンインストール時に削除されません。

3. Vex本体プログラムのダウンロード

Vex本体プログラム、マニュアル及び必要なアプリケーションについては、弊社サポートサイトからダウ ンロード可能です。

以下URLにアクセスし、サポートサイトにログインします。

サポートサイトURL:

https://support.ubsecure.jp/VEXSupport/

MEMO

・サポートサイトアカウントがご不明な場合は、Vexサポートまでご連絡ください。

上記URLよりログインし、画面左のメニューから「Download」を選択します。



ダウンロードしたファイルを確認します。

名前	更新日時	種類	サイズ
Documents(English)	2019/08/14 14:16	ファイル フォルダー	
hird-Party Licenses	2019/08/14 14:16	ファイル フォルダー	
ドキュメント(日本語)	2019/08/14 14:16	ファイル フォルダー	
🔯 vex-cli.zip	2019/04/26 16:31	ZIP ファイル	11,368 KB
🕞 VexSetup_	2019/08/06 14:29	アプリケーション	312,083 KB

ΜΕΜΟ

・本Vexバージョンのインストール、およびバージョンアップは、 「**VEXSetup_X.X.X.X.exe**」(X.X.X.X はバージョン番号)から行います。

3.1. セットアップモジュールの起動

セットアップモジュールで、Vexのインストール、およびバージョンアップを行います。

MEMO

・**本バージョンの2バージョン前より前のバージョン**からのバージョンアップの場合は、 「12.サポート対象外のバージョンからのバージョンアップ」をご参照ください。

ダウンロードファイルに同梱されているVexセットアップモジュールを起動します。

格納場所:ダウンロードファイル

モジュール名: <u>VEXSetup X.X.X.A.exe</u>(X.X.X.Xはバージョン番号)

セットアップに使用する言語を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

セットアッ	プに使用する言	語の選択	×
12	インストール中	₽に利用する言語を	選んでください:
	日本語		~
		ОК	キャンセル

セットアップウィザードを開始画面の「次へ」ボタンをクリックします。



MEMO

・Vexインストール端末に、 <mark>Microsoft.NET Framework 4.5</mark> がインストールされていない場合は、 最初にインストールが実行されます。 ※状況により、**5~10分**程度かかることがあります。

MEMO

• バージョンアップ対象外のバージョンをご利用の場合は、以下のメッセージが表示されます。



- 上記のメッセージが表示された場合は、
 「12.サポート対象外のバージョンからのバージョンアップ」をご参照ください。
- 新規インストールを実施したい場合は、既存のVexをアンインストールしてから、新規インストール を実施してください。アンインストール手順は、「11.アンインストールの手順」を参照してください。

※ライセンスの再発行が必要ですので、Vexサポートにご連絡ください。

新規インストールの場合

4.新規インストールの手順をご参照ください。

バージョンアップの場合

8.バージョンアップの手順をご参照ください。

Vexを新規インストールする場合は、以下の章をご確認ください。



4.1. 新規インストールの実行

[1]「新規インストール」を選択し、「次へ」をクリックします。



√Check!

インストールする端末上で、Vexが使用するポートが使用されている場合、下記のようなメッセージを表示します。

L

	 VEXで使用するポート(5432)が使用中です。 ポートを使用しているアプリケーションを終了してください。 該当のアプリケーションが自動起動するように設定されている場合は、 自動起動しないように設定を変更してください。
	ОК
※Vexで使用するポ- <postgresql:54< b="">3</postgresql:54<>	は、以下の3つです。 Tomcat : 8005、8080>
□ 他のサービスが上 Vexを利用するため(^ペ ートを使用している場合は、Vexを利用することは出来ません。 、ポートを利用しているサービスを停止(または、設定変更)してください。

[2] Vexのインストール先を指定し、「次へ」をクリックします。



MEMO

・初期設定では、「C: ¥ Program Files ¥ UBsecure ¥ VEX」が指定されます。

・過去にVexをインストールしたことのある端末などで、指定のフォルダが残存している場合は、上書き するかどうかの確認画面が表示されることがあります。保存先のフォルダ内のファイルが不要であれば、 インストール先のフォルダは変更しないで進めてください。

[3] プログラムグループを指定し、「次へ」をクリックします。

プログラムアイコンを作用	E 成する場所を指定	目してください。				
セットアップは.	スタートメニュー(2)	プログラムのショ	ートカットを作成し	ます。		
続けるには「)次へ」をクリ ください。	りックしてください。う	違うディレクトリを	を選択するには「参	照」を	リックして	
UBsecure				参	照 <mark>(R)</mark>	
						1

・初期設定では、 「UBsecure」 が指定されます。	
Windowsのスタートメニューに表示されるプログラム名を指定します。	

[4] Vexプロジェクトフォルダを指定し、「次へ」をクリックします。

得 Vex セットアップ	_		×
Vex プロジェクトフォルダの指定 Vex のプロジェクトフォルダを指定してください。			
Vex のプロジェクトデータを保管するフォルダを指定して、「次へ」をクリック ※空き容量が十分にあるディスクを指定してください。 ※空のフォルダ、または新しいフォルダを指定してください。 ※フォルダ名には半角英数字と記号 \$ @ _ のみ使用可能です。	してく	ださい。	
C:¥VEX		参照(R)	
< 戻る(B) 次へ(N) >	•	キャ	ンセル

・初期設定では、「C:\VEX」が指定されます。

・すでにデータが存在するフォルダは、プロジェクトフォルダに指定出来ません。 存在するデータが不要であればフォルダを削除していただくか、新しいフォルダ名を指定してください。

[5] データベース接続パスワードを指定し、「次へ」をクリックします。

뤻 Vex セットアップ		-		×
データベース パスワードの指定 データベースのパスワードを指定してく	ださい。		Í	
Vex で使用するデータベースのパスワ・	ードを指定して、「次	へ」をクリックしてくだ	iðu.	
* パスワードには半角英数字、および !#\$(*+,/:;=?@[]_`{ * 99 文字以内で指定してください。	ジ次の記号のみ使用 } ~	できます。		
パスワード				
•••••				
パスワードの確認				
•••••				
	< 戻る(B)	次へ (N) >	キャン	セル

MEMO

・設定したパスワードは、忘れないように保存してください。

[6] 追加タスクの選択を指定し、「次へ」をクリックします。

🐻 Vex セットアップ		_		\times
追加タスクの選択 実行する追加タスクを選択してください。			Í	
Vex インストール時に実行する追加タスクを選択し	て、「)次へ」をクリック	してくださ	()。	
アイコンを追加する:				
☑ デスクトップ上にアイコンを作成する(0)				
< 戻る(B) 次へ(N)	>	キャン	セル

「デスクトップ上にアイコンを作成する」にチェックをいれると、インストール時に、 「Vex Controller」を起動するショートカットが作成されます。

詳しくは、「9.Vex Controllerについて」をご参照ください。

[7] インストール設定情報を確認し、「インストール」をクリックします。

🐻 Vex セットアップ			_		×
インストール準備完了 ご使用のコンピュータへ Vex をインストール	する準備ができ	きました。			
インストールを続行するには「インストール」 クしてください。	を、設定の確認	忍や変更を行う	には「戻る	うまクリッ	
インストール先: C:¥Program Files¥UBsecure¥VEX				^	
プログラムグループ: UBsecure					
追加タスク一覧: アイコンを追加する: デスクトップ上にアイコンを作成する	(D)				
<				~	
	< 戻る(B)	インストール	1)	キャンセ	N

インストールが完了するまで、しばらくお待ちください。



・インストールの途中のキャンセルは出来ません。

・インストール実行中、以下のアラートボックスが表示されますが、自動的に閉じるためそのままお待 ちください。



[8] インストールの完了



以上で、Vexのインストールは完了です。

4.2. 初期パスワードの変更

続けて、管理者アカウントの初期パスワードを変更します。

ブラウザを起動し、Vex管理画面のURLを入力します。

http://localhost:8080/Jabberwock/admin.jsp

※localhostは環境に応じて書き換えてください。

管理画面ログ・	イン
ユーザID:	
パスワード:	
言語:	日本語 ▼

√Check!

・ログインURLは、大文字や小文字も含めて正確に入力する必要があります。

エラー画面が応答する場合、ログインURLに誤りがある可能性がございますので、再度ご確認ください。(Jが小文字である、iが大文字である等)

- Vexは8080番以外のポートでは正常に動作しないため、ポートの変更は出来ません。
- •ご利用のブラウザの設定により、英語画面が表示される場合がございます。

「Language」(言語)の選択肢より「日本語」を選択してください。

ユーザID: admin パスワード: admin でログインします。

MEMO

・インストール直後の管理者のユーザID、パスワードは上記の値で設定されています。

4.2.3. 初期パスワードの変更

ログイン後初期パスワードの変更を行います。

画面右上のメニューから「admin」>「パスワード変更」をクリックします。

😮 admin	•
パスワード変更	
Vex(こついて	
マニュアル ▼	
ログアウト]

「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「確認用パスワード」を入力し、「実行」を選択しま す。



初期パスワードの変更は以上です。続けてVexライセンスの登録を行います。



5. Vexライセンスの登録

以下の手順に沿って、Vexライセンスの登録を行います。

√Check!

・Vexのライセンスには、「ベースライセンス」と「ユーザライセンス」があります。

□「ベースライセンス」は、Vexを利用するために、サーバに適用するライセンスです。 ユーザの管理、Vex操作ログの確認等を実行可能です。

□ 「**ユーザライセンス」**は、Vexを利用して検査を実行するユーザの ライセンスです。 検査対象のプロキシログの取得、検査、レポートの出力等を実行可能です。

5.1. Vex管理画面へのログイン

5.1.1. 管理者ログイン画面の表示

ブラウザを起動し、Vex管理画面のURLを入力します。

http://localhost:8080/Jabberwock/admin.jsp

※localhostは環境に応じて書き換えてください。

Vul	nerability Explorer X.X.X.X
-船コーザロノ	ブイン
ユーザID:	
パスワード:	

5.1.2. ログインの実施

管理者アカウントでログインします。

МЕМО			
・インストール直後の管理	里者のユーザID、パスワー	ドは下記の値で設定されて	います。
	ユーザID	admin	
	パスワード	admin	

5.2. ベースライセンス(管理アカウント)の登録

「ライセンス管理」>「ライセンス登録」を選択します。

ユーザー覧 グループー覧 アクションログー野	1 共通設定▼	ライセンス管理▼
コーモデジャン		ライセンス登録
ユーリ亜緑		ライヤンス移動
ユーザID	ライセンスID	コーザ惑得サーバの亦再
		ユーリ豆球リーハの変更

Vexサーバのベースライセンスを登録します。

「ライセンスファイル」、「パスワード」を入力し、「実行」を選択します。

	ライセンス登録		a x	
	ライセンスID: ライセンスファイル:	参照		
	パスワード:	<u>承</u>		
		実行	キャンセル	
МЕМО				
 ・本画面で入 ※初期設定 	力するパスワードは、管理画i のパスワードは「admin」です	面にログインする際のパスワード ⁻ す。	です。	
「閉じる」 をな	フリックします			
	ライセンス登録		a 🖉 🖉	
	ライセンスの更新が完了しました。			
			閉じる	

5.3. ユーザライセンス(ユーザアカウント)の登録

「ユーザー覧」>「ユーザ登録」を選択します。

📀 vex		
ユーザー覧 グループ一覧 アクションログー	-覧 共通設定▼ ライセンス管理▼	
ユーザ登録		

必須項目を入力し、「実行」を選択します。

ユーザ登録			8	×
ユーザID:	必須	vex		
名前:	必須	ユービー太郎		
所属:	必須	セキュリティ部		
プロキシポート:	必須	9090		٦I
ライセンスファイル:	必須	参照 user3.bxt		
所属グループ:				
現在のグループ		その他のグループ		
master_group		<pre>group0 group1 group2 group3 group4 group5 >></pre>	~	

|--|

入力項目名	説明
ユーザID	ログインに使用するユーザID を <u>半角英数字</u> で指定してください。 (30文字以内)
名前	利用者の名前を入力してください。(30文字以内)
所属	所属の名称を入力してください。(30文字以内)
プロキシポート	ユーザの使用するVexのプロキシポートをご指定ください。 ※Vexが使用するTomcatのポート(8080)、PostgreSQLのポート(5432)、そ の他Vexインストール端末が使用済みのポート番号は指定しないでください。 (1~65535の範囲の半角数字)
ライセンスファイル	ユーザライセンスファイルを指定します。 ※ ベースライセンスとは異なります。
所属グループ	ユーザのグルーピングに使用する項目です。

登録が完了すると登録したユーザの**初期パスワード**が発行されます。

ユーザ登録

) X

ユーザ登録が完了しました。 発行されたパスワードは<mark>Internet</mark>です。

MEMO

- ・本画面にて登録したユーザIDは、ユーザがログインする際のIDです。
- ・初期パスワードは、メモ帳等に保存してください。
- ・ユーザログイン後の画面より、任意のパスワードに変更可能です。

5.4. 初期パスワードの変更

ユーザログイン画面にアクセスし、初期パスワードを変更します。

5.4.1. ユーザログイン画面の表示

ブラウザを起動し、以下のURLを入力します。

http://localhost:8080/Jabberwock/index.jsp

※localhostは環境に応じて書き換えてください。

() vex						
Vul	nerability Explorer X.X.X.X					
般ユーザログ	ブイン					
ユーザID:						
パスワード:						
言語:	日本語					

- ログインURLは、大文字や小文字も含めて正確に入力する必要があります。
 エラー画面が応答する場合、ログインURLに誤りがある可能性がございますので、再度ご確認ください。(Jが小文字である、iが大文字である等)
- Vexは8080番以外のポートでは正常に動作しないため、ポートの変更は出来ません。

5.4.2. ログインの実施

「ユーザライセンスの登録」で登録したユーザID、および初期パスワードでログインします。

新規プロジェクト作成インボート												
.↓ プロジェクト6	Ŧ	自動通知 状況	Web 検査状況	Files	Settings	エクスポート 状況	所有 グループ	作成者	(MAD	削除予約	相理	
	プロジェクトが	ありませ										
	7071710	00086	100									

5.4.3. 初期パスワードの変更

ヘッダ右部のユーザ名のプルダウンメニューから「ユーザ情報編集」画面にアクセスします。



初期パスワードを任意のパスワードに変更します。

ユーザ情報編集	🔳 🗙
ユーザID:	user1
名前:	a user1
所属:	i ubsecure
現在のパスワード:	Ę
新しいパスワード: 必然	<u> </u>
確認用パスワード:	<u> </u>
プロキシポート:	9091



「現在のパスワード」に「**初期パスワード**」、また「新しいパスワード」、「確認用パスワード」に、任 意のパスワードを入力し、「保存」ボタンをクリックします。

初期パスワードの変更が終了しましたら、Vexのインストールは完了です。

新規インストールの場合は、引き続き 「Internet Explorerの設定」をご参照ください。

6. Internet Explorerの設定

6.1. アクティブスクリプトの設定確認

アクティブスクリプトの設定を確認します。

√Check! (新規インストールを実施した場合は、必ずお読みください。)

• Vexが正常に画面キャプチャを取得するために必要な設定です。 本設定の通りに設定されていることを確認してください。

[1]ローカルグループポリシーエディターを開く

<u>Windows Server 2012、Windows Server 2016、Windows Server 2019、Windows 8.1、Windows</u> 10をご利用の場合

「管理メニュー」>「ファイル名を指定して実行」を選択します。

※管理メニューの表示は、マウスカーソルを画面左下隅に移動して右クリックしてください。

プログラムと機能(F) 電源オプション(O) イベントビューアー(V)		D		ファイル名	を指定して	実行	×	
システム(Y) デバイス マネージャー(M) ディスク管理(K) コンビューターの管理(G) コマンド プロンプト(C) コマンド プロンプト (管理者)(A)		(三) 名前(<u>0</u>)	実行する ネットリソ : gpedit.	プログラム名、ま ース名を入力し msd	たは聞くフォル てください。	ダーやドキュ	メント名、インター マ	
タスク マネージャー(T) コントロール パネル(P) エクスプローラー(E) 検索(S)	7			ОК	\$ 7	ンセル	参照(<u>B</u>)	
ファイル名を指定して実行(R)								
デスクトップ(D)								

「gpedit.msc」と入力し、「OK」をクリックします。

√Check!

• gpedit.mscの実行時にエラーが発生する場合、トラブルシューティングの「ローカルグループポリ シーエディタの起動時にエラーが発生する」をご確認ください。

[2]アクティブスクリプトの許可を「有効」にする

各OS共通の操作

左のツリーから、以下の項目を選択します。

「コンピュータの構成」>「管理用テンプレート」>「Windowsコンポーネント」> 「InternetExplorer」>「インターネットコントロールパネル」>「セキュリティページ」>「インター ネットゾーン」



右画面の項目の「アクティブスクリプトの許可」を選択し、右クリック>「編集」を選択してください。

「」」 ローカル グループ ポリシー エディター				×
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)				
(= =) (2 🖬 🗟 🖬 🦷				
□ ーカル コンピューター ポリシー	📋 インターネット ゾーン			
▲ 褬 コンピューターの構成	アクティブ スクリプトの許可	設定		₩ ^
▷ 2 ソフトウェアの設定			のアクセス	*
▷ I Windows の設定	ポリシー設定の編集			#
		□ ページの自動語を込み	編隹(F)	
	必要条件:		「Alexandream (F)	
	Windows XP Service Pack 2 また		フィルター オプション(0)	
Deskton Window Manager	Back 1 75 Internet Explorer 6 0 1		フィルターの再適田(P)	
Internet Explorer	隆		ションションウ (八)	
			すべてのタスク(K)	
▷ □ アプリケーションの互換性	説明:	目 混住したコンテンツを表示	ヘルプ(H)	
▲ 📋 インターネット コントロール パネル	このポリシー設定を使用すると、	EI 署名済み ActiveX コントレ ローナーター・ローントレー		
[詳細設定] ページ	ソーンのページにあるスクリプト	Ⅲ 未署名の ActiveX コントロー	-ルのタウンロード	汞
▷ 🧰 [全般] ページ	コートを実行するかとうかを自住し	目 ウィンドウ上の各ドメインか	らコンテンツのドラッグを有	利
🦰 コンテンツ ページ		目 ウィンドウ内の別のドメイン	からコンテンツのドラッグを	「「「「「」「」
▲ 🚞 セキュリティ ページ	このポリシー設定を有効にすると、	📰 ファイルのドラッグ/ドロッフ	プ、またはコピー/貼り付けの	未
🧰 インターネット ゾーン	ゾーン内のページ上のスクリプト	🗉 ファイルのダウンロードの許	可	「未」
📔 イントラネット ゾーン	コードを自動的に実行できます。ド	🔡 フォントのダウンロードの許	可	未
ローカルマシンゾーン	ロッノダワン 小ツクス () [ダイアロ ガを手テする] を深切した担合 、バー	🔡 デスクトップ項目のインスト	ールの許可	未
ロックダウンされたインターネー ロックダウンされたインターネー	ン内のページトのスクリプトコード	🔡 Java のアクセス許可		未
	の実行を許可するかどうかをユー	📄 IFRAME のアプリケーション	とファイルの起動	栽
	ザーにたずねます。	🔢 ログオンのオプション		未
ロックダワノされに信頼済みり ロックダウンされた信頼済みり		🔡 MIME スニッフィングを有効	にする	未
□ ロックタウノとれた制限的とり	このポリシー設定を無効にすると、	異なるドメイン間のウィンド	ウとフレームの移動	未
□ 10月0月07 ジョート	シーンのペーシエのスクリント コー	🔝 制限されたプロトコル経由で	取得されたアクティブ コン	未
▶ □ インターネットの設定		■ 既存のクライアント証明書が	1 つ、または存在しない場	未
▷ □ セキュリティの機能	このポリシー設定を構成しない場合	■ ActiveX コントロールに対し	て自動的にダイアログを表示	未
📫 ツール バー	は、ゾーン内のページ上のスクリプ	 III ファイルのダウンロード時に	自動的にダイアログを表示	未
プライバシー	ト コードを目動的に実行できます。	 目 許可されたドメインにのみ、	警告なしで ActiveX を使用	未
📔 ブラウザーのメニュー		 目 レガシ フィルターを表示する	5	未
□ 閲覧履歴の削除		ActiveX コントロールとプラ	グインの実行	未
▶ 🛗 企業用の設定				
管理用テンプレートのポリシー設定の編集	(20.18)(381)			

MEMO

・本設定を行うと、インターネットゾーンに該当するWebサイト上で確認表示なしでJavaScript やVBScriptが実行されます。

アクティブスクリプトの許可の「有効」、およびオプションで「有効」を選択し、

「適用」>「OK」ボタンを選択してください。

🌆 アクティブ スクリプトの許可	
🛅 アクティブ スクリプトの許可	前の設定(P) 次の設定(N)
 ○ 未構成(C) コメント: ◎ 有効(E) ◎ 無効(D) サポートされるバージョン: 	Windows XP Service Pack 2 または Windows Server 2003 Service Pack 1 で Internet Explorer 6.0 以降
オプション:	ヘリレブ:
アクティブ スクリプトの許可 [有効] (有効] [無効] ダイアログを表示する	 このボリシー設定を使用すると、ゾーンのページにあるスクリ ブト コードを実行するかどうかを管理できます。 このボリシー設定を有効にすると、ゾーン内のページ上のスク リブト コードを自動的に実行できます。ドロップダウン ボッ クスで [ダイアログを表示する] を選択した場合、ゾーン内のペ ージ上のスクリプト コードの実行を許可するかどうかをユーザ ーにたずねます。 このボリシー設定を無効にすると、ゾーンのページ上のスクリ プト コードは実行されません。 このボリシー設定を構成しない場合は、ゾーン内のページ上の スクリプト コードを自動的に実行できます。
	OK キャンセル 適用(A)

MEMO

※「ダイアログを表示する」の場合、頻繁にダイアログが上がるため、正常な操作を妨げる可能性があ ります。

・本設定を行うと、IEのツール>インターネットオプション>セキュリティ> インターネット>レベル カスタマイズで、アクティブスクリプトの項目の変更が選べない状態になります。

新規インストールの場合は、引き続き、以下の項目をご確認ください。

クライアントの操作端末と、Vexサーバの端末を分けてご利用される場合は、 続けて、ファイアウォール の設定を行います。

ファイアウォールの設定方法に関しては、

「Windows ファイアウォールの設定」をご参照ください。

•ファイアウォールの設定が必要ない場合は、以下の項目をご確認ください。

「Vex Controllerについて」 ※Vexの設定パネルの説明です。 「その他の設定」 ※必須設定項目ではありません。

7. Windowsファイアウォールの設定

Windowsのファイアウォールの設定方法を記載します。

√Check!(必ずお読みください。)

□ クライアントの操作端末と、Vexサーバの端末を分けてご利用される際に必要な設定です。

以下に示すネットワーク概要図のうち、クライアント⇔Vex 間の設定について解説します。

Vex⇔対象サイト間の設定は、ご利用の環境に応じて設定を行ってください。

(Vexネットワーク概要図)



Vexをインストールする端末のOSにより、設定方法が異なります。

ご利用のOSを確認の上、対応する設定手順をご確認ください。

各OSでのファイアウォールの設定方法	
Windows 8.1をご利用の場合	Windows 8.1をご利用の場合を参照
Windows 10をご利用の場合	Windows 10をご利用の場合を参照
Windows Server 2012をご利用の場合	Windows Server 2012をご利用の場合を参照
Windows Server 2016をご利用の場合	Windows Server 2016をご利用の場合を参照
Windows Server 2019をご利用の場合	Windows Server 2019をご利用の場合を参照

[1] クライアント端末からVexサーバ端末へのアクセスを有効にする

「管理メニュー」(マウスカーソルを画面左下隅に移動して右クリック)>「コントロールパネル」を選 択してください。

プログラムと機能(F)	
電源オプション(0)	
イベント ビューアー(V)	
システム(Y)	
デバイス マネージャー(M)	
ネットワーク接続(W)	
ディスクの管理(K)	
コンピューターの管理(G)	
コマンド プロンプト(C)	
コマンド プロンプト (管理者)(A)	
タスク マネージャー(T)	
コントロール パネル(P)	
エクスプローラー(E)	
検索(S)	
ファイル名を指定して実行(R)	
シャットダウンまたはサインアウト(U)	•
デスクトップ(D)	

「システムとセキュリティ」を選択してください。





「Windowsファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可」を選択してください。

@	Windows ファイアウォー	-JL – 🗆 🗙
コントロール パネル ホーム	Windows ファイアウォールによる Po	C の保護
Windows ファイアウォールを介した アプリまたは機能を許可	Windows ファイアウォールによって、ハッカーまた したアクセスを防止できるようになります。	は悪意のあるソフトウェアによるインターネットまたはネットワークを経由
🛞 通知設定の変更	🥑 プライベート ネットワーク(R)	接続されていません 🔿
Windows ファイアウォールの有効 化または無効化 ネットワーク上のユーザーとデバイスを認識および信頼している、ホームまたは社内ネットワーク		/信頼している、ホームまたは社内ネットワーク
🛞 既定値に戻す	Windows ファイアウォールの状態:	有効
詳細設定 ネットワークのトラブルシューティング	着信接続:	許可されたアプリの一覧にないアプリへのすべての接続を ブロックする
	アクティブなプライベート ネットワーク:	なし
関連項目	通知の状態:	Windows ファイアウォールが新しいアプリをブロックしたと きに通知を受け取る
アクション センター ネットワークと共有センター	🔮 ゲストまたはパブリック ネット	ワーク(P) 接続済み ⊙

図のウインドウが開きましたら、「設定の変更」をクリックし、右下の「別のアプリの許可」を選択して ください。

	許可されたアプリ	- 🗆 🗙	
۲	🕞 🝷 ↑ 🔗 « Windows ファイアウォール ト 許可されたアプリ 🛛 🗸 🖒	コントロール パネルの検索 👂	1
	アプリに Windows ファイアウォール経由の通信を許可する		
	許可されたアプリおよびボートを追加、変更、または削除するには、[設定の変更]をクリッ	クします。	
	アプリに通信を許可する危険性の詳細	砂設定の変更(N)	
	許可されたアプリおよび機能(A):		
	名前	プライベート パブリック ^	
	☑ Bing フード&レシピ		
	☑ Bing ヘルスケア&フィットネス		
	□ BranchCache - コンテンツ取得 (HTTP を使用)		
	□ BranchCache - ピア検出 (WSD を使用)		
	□ BranchCache - ホスト型キャッシュ クライアント (HTTPS を使用)		
	 BranchCache - ホスト型キャッシュ サーバー (HTTPS を使用) 		
	CheckPoint.VPN		
	☑ f5.vpn.client		
	□ ISCSI サービス		
	☑ JuniperNetworks.JunosPulseVpn		
	Media Center Extender		
	Netlogon サービス		
		詳細(1) 削除(M)	
		student intraction	
		別のアプリの許可(R)	
		0K \$17\1711	

「参照(B)」を選択します。

アプリの追加	×
追加するアプリを選択するか、または一覧表示されていないものについ して検索して、[OK] をクリックしてください。	ては [参照] をクリック
ፖプリ(P):	
💽 Camera	^
Internet Explorer	
OPC 設定	
Photos	
🝊 SkyDrive	
Snipping Tool	
VEX VEX	
🕍 Windows Defender	
調 Windows FAX とスキャン	
📕 Windows Journal	
🔀 Windows PowerShell	
@ Windows 転送까~॥,	
パス(A): C:¥Windows¥Camera¥Camera.exe	参照(B)
アプリのブロックを解除するリスク	
このアプリを追加するネットワークの種類を選択できます。	
ネットワークの種類(N) 追加	キャンセル

Tomcatのディレクトリのbinフォルダ内を開き「tomcat9.exe」を選択し、「開く(O)」を選択します。

 		×
	✓ C binの検索	Q,
整理 ▼ 新しいフォルダー	III 👻 🚺	0
Program Files ∧ Common Fil Internet Ex; UBsecure VEX bin Jabberw i jre i pgsql i tomcat	*	
ファイル名(N):	 アプリケーション (*.exe;*.com 	n;* ∨
	開<(O) キャンt	ZJU:

MEMO

・インストール時にVexのインストール場所を変更していない場合は、

「C:\Program Files\UBsecure\VEX\tomcat\bin」を参照してください。

「Commons Daemon Service Runner」が選択されていることを確認後、「追加」を選択します。

アプリの追加	×
追加するアプリを選択するか、または一覧表示されていないものについては [参照] をクリッ・ して検索して、[OK] をクリックしてください。	5
アプリ(P):	
🔯 Camera	^
Commons Daemon Service Runner	
🥭 Internet Explorer	
C 設定	
- Photos	
C SkyDrive	
Snipping Tool	
VEX	
Windows Defender	
em Windows FAX とスキャン	
Windows Journal	J
Windows PowerShell	
パス(A): C:¥Program Files¥UBsecure¥VEX¥tomcat¥bi 参照(B)	
アプリのブロックを解除するリスク このアプリを追加するネットワークの種類を選択できます。	
ネットワークの種類(N) 追加 キャンセル	

一覧から「Commons Daemon Service Runner」を選択し、「詳細(L)」を選択してください。

	許可されたアプリ		×
۲	→ ↑	コントロール パネルの検索	Q
	アプリに Windows ファイアウォール経由の通信を許可する 許可されたアプリおよびポートを追加、変更、または削除するには、「設定の変更」をクル	かけます。	
	アプルに通信を許可する危険性の詳細	登設定の変更(N)	
	許可されたアプリおよび機能(A):		
	名前	プライベート パブリック ^	
	 ☑ Bing フード&レシピ ☑ Bing ヘルスケア&フィットネス 		
	□ BranchCache - コンテンツ取得 (HTTP を使用) □ BranchCache - ピア検出 (WSD を使用)		
	 □ BranchCache - ホスト型キャッシュ クライアント (HTTPS を使用) □ BranchCache - ホスト型キャッシュ サーバー (HTTPS を使用) □ Chastopic HTML 		
	Commons Daemon Service Runner		
	図f5.vpn.client □ iSCSI サービス 図 JuniperNetworks.JunosPulseVpn □ Media Center Extender		
		詳細(L) 削除(M)	
		別のアプリの許可(R)	
		ОК + p>tл	

アプリの編集ダイアログより「ネットワークの種類(N)」を選択してください。

	アプリの編集
インターネット上のコンピューターおよびネットワーク上のコンピューターを含む任意のコンピュ ーターからのこのアプリへの通信を許可できます。	
名前: 🍾 Apache Commons Daemon Service Runner	
パス(P):	C:¥Program Files¥UBsecure¥VEX¥tomcat¥bin¥tomcat9.
アプリのブロックを解除するリスク	
このアプリを追加するネットワークの種類を選択できます。	
ネットワークの種類(N) OK キャンセル	

「プライベート(P)」を選択し、「OK」を選択します。

ネットワークの種類を選択
このアプリまたはポートが Windows ファイアウォールを経由して 通信することを許可する、ネットワークの種類を選択してください:
✓ プライベート(P): ネットワーク上のユーザーとデバイスを認識および 信頼している、ホームまたは社内のネットワーク
□ パブリック(U): 空港、喫茶店など、公共の場のネットワーク
OK(0) キャンセル

アプリの編集ダイアログより「OK」を選択してください。
	アプリの編集		
インターネット上のコンピューターおよびネットワーク上のコンピューターを含む任意のコンピュ ーターからのこのアプリへの通信を許可できます。			
名前:	SApache Commons Daemon Service Runner		
パス(P):	C:¥Program Files¥UBsecure¥VEX¥tomcat¥bin¥tomcat9.		
アプリのブロックを	解除するリスク		
このアプリを追加す	するネットワークの種類を選択できます。		
ネットワークの	D種類(N) OK キャンセル		

「OK」を選択して終了してください。

許可されたアプリ		-	
) 💮 🔻 🕈 🄗 « Windows ファイアウォール 🕨 許可されたアプリ 🛛 🗸 🕑	コントロール ハ	ネルの検索	
アプリに Windows ファイアウォール経由の通信を許可する 許可されたアプリおよびボートを追加、変更、または削除するには、[設定の変更] をクリッ アプリに通信を許可する危険性の詳細	ックします。	设定の変更(N)
許可されたアプリおよび機能(A):			
名前	プライベート	パブリック	^
☑ Bing フード&レシピ			
■ Bing ヘルスケア&フィットネス			
□ BranchCache - コンテンツ取得 (HTTP を使用)			
□ BranchCache - ピア検出 (WSD を使用)			
□ BranchCache - ホスト型キャッシュ クライアント (HTTPS を使用)			
□ BranchCache - ホスト型キャッシュ サーバー (HTTPS を使用)			
CheckPoint.VPN			
Commons Daemon Service Runner			
Commons Daemon Service Runner			
✓ f5.vpn.client			
□ iSCSI サービス			
☑ JuniperNetworks.JunosPulseVpn	¥		~
	詳細(L)	削除(M)	
	別のアプ	りの許可(R)	
	ОК	キャンセノ	٢

プライベート内でのTomcatへのWindowsファイアウォール経由の通信許可設定は以上です。IP指定での 接続を許可する場合は、次の方法を参考にしてください。

[2] Vexサーバ端末へのアクセスを制限する

Vexサーバ端末へアクセスが可能なクライアント端末を、IPアドレスにより制限します。

「Windowsファイアウォール」>「詳細設定」をクリックします。



セキュリティが強化されたWindowsファイアウォールが開きます。

「受信の規則」をクリックしてください。

@	セキュリティが強化された Windows ファイアウォール	- • ×
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) へ	レプ(H)	
ローカルコンピューターのセキュリテ・ ローカル コンピューターのセキュー ローカルコンピューターのセキュー ローカル コンピューターのセキュー ロー	ローカル コンピューター のセキュリティが強化された Windows ファイアウォール	操作
100 受信の規則 11 受信の規則		^ ローカル コンピューター ▲
接続セキュリティの規則	च ् 3°	■ ポリシーのインボート…
D 🛃 🖾 192	概要 ▲	- (二 ボリシーのエクスホート
	ドメイン プロファイル	既正の小リンーの復元
	🧭 Windows ファイアウォールは有効です。	
	◎ 規則に一致しない受信接続はブロックされます。	る最新の情報に更新
	シンゴハート フロファイル 図 Windows ファイアウォールは有効です。	
	◎ 規則に一致しない受信接続はブロックされます。	
	☑ 規則に一致しない送信接続は許可されます。	
	パブリック プロファイルがアクティブです	
	Windows ファイアウォールは有効です。 ・ 日間に、たしたいまた(たけなけざっ)、たちやませ	
	○ 規則に一致しない実情接続は2009により。 ◎ 規則に一致しない送情接続は許可されます。	
	はしめに	
	コンピューター間の接続がいり、どのようにインターネット プロトコル セキュリティ (IPSec) を使用して認証、保護されるかを指	
	定する接続のセキュリティ規則を作成します。	
	■ 接続セキュリティの規則	~
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

「Commons Daemon Service Runner」が複数表示されています。

これは、プライベートとドメイン指定の二つの接続エリアに対してTCP/UDPを選択して接続設定ができるためで、異常ではありません。

@	セキ:	ュリティが強化	とされた Wir	ndows	ファイス	アウォール	L					- 🗆 ×
ファイル(F) 操作(/	A) 表示(V) ヘルプ(H)											
🗢 🄿 🚈 📰	🗟 🛛 💼											
ביצעב אות-ם 🔐	受信の規則											操作
受信の規則 送信の規則	名前	グループ	プロファイル	有効	操作	優先	プログラム	0	y	プロトコル	D· ^	受信の 🔺
■ 上信の規則 ■ 接続セキュリ	Commons Daemon Service Runner		ドメイン	いいえ	許可	いいえ	C:¥Progr	任意	任意	ТСР	任	🐹 新し
	🔇 Commons Daemon Service Runner		プライベート	はい	許可	いいえ	C:¥Progr	任意	任意	UDP	任	
· • • • • • •	🖉 Commons Daemon Service Runner		プライベート	はい	許可	いいえ	C:¥Progr	任意	任意	ТСР	任	
	Commons Daemon Service Runner		パブリック	いいえ	許可	いいえ	C:¥Progr	任意	任意	UDP	任	₩ 状態 ▶
	Commons Daemon Service Runner		パブリック	いいえ	許可	いいえ	C:¥Progr	任意	任意	TCP	任	▼ グルー ト
	Commons Daemon Service Runner		ドメイン	いいえ	許可	いいえ	C:¥Progr	任意	任意	UDP	任	表示
	ØBranchCache コンテンツ取得 (HTTP-受信)	Branch	すべて	いいえ	許可	いいえ	SYSTEM	任意	任意	ТСР	80	
	🜑 BranchCache ピア検出 (WSD-受信)	Branch	すべて	いいえ	許可	いいえ	%syste	任意	D	UDP	37	Q
	🔘 BranchCache ホスト型キャッシュ サーバー (HT	Branch	すべて	いいえ	許可	いいえ	SYSTEM	任意	任意	TCP	80	🛃 一覧
	CheckPoint.VPN	CheckP	すべて	はい	許可	いいえ	任意	任意	任意	任意	任。	? ヘルプ
< >											>	

プロファイルが「**プライベート**」で、プロトコルがTCPの「Commons Daemon Service Runner」を選択 状態にして右クリック>「プロパティ」を選択してください。

@		セキュリティが強く	とされた Wir	ndows	ファイフ	アウォーノ	L					-		×
ファイル(F) 操作(A	A) 表示(V) ヘルプ(H)													
🗢 🄿 🚈 📊	🔒 🛛 🗖													
🔐 ם-לאר אל	受信の規則											操作		
数 受信の規則	名前	グループ	プロファイル	有効	操作	優先	プログラム	0	y	プロトコル	□ · ^	受	i	-
いたい 法に行ってい 法に行う しん ほうしん しんしょう しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん	Commons Daemon Service Runner		ドメイン	いいえ	許可	いいえ	C:¥Progr	任意	任意	ТСР	Æ	1	新	
▶ 🌉 監視	Commons Daemon Service Runner		プライベート	はい	許可	いいえ	C:¥Progr	任意	任意	UDP	任	V	Ĵ	•
	Commons Daemon Service Runner		プライベート	はい	許可	いいえ	C:¥Progr	任意	任意	TCP	任	5	440	
	Commons Daemon Service Runr	規則の無効化(I)	7	いいえ	許可	いいえ	C:¥Progr	任意	任意	UDP	任	V I	祆	
	Commons Daemon Service Runr		7	いいえ	許可	いいえ	C:¥Progr	任意	任意	TCP	任		ガ	•
	Commons Daemon Service Runr	WUDEXU(1)		いいえ	許可	いいえ	C:¥Progr	任意	任意	UDP	任		表示	•
	Ø BranchCache コンテンツ取得 (HTTP)	⊐ピ−(C)		いいえ	許可	いいえ	SYSTEM	任意	任意	TCP	80		-	
	BranchCache ピア検出 (WSD-受信	削除(D)		いいえ	許可	いいえ	%syste	任意	D	UDP	37	Q	菆	
	BranchCache ホスト型キャッシュ サー/	-fmut= (/p)		いいえ	許可	いいえ	SYSTEM	任意	任意	TCP	80			
	CheckPoint.VPN	70/(71(K)		はい	許可	いいえ	任意	任意	任意	任意	任。	?	Λ	
< >	< Comparison of the second sec	へルプ(H)									>	-		

アクセスを許可するネットワーク範囲をご利用の環境に合わせて選択します。

√Check!

任意のコンピュータからアクセス可能な設定は、外部からVexサーバにアクセス可能な状態になるため、セキュリティ上推奨致しません。
 Vexを利用するクライアントからのみアクセス可能な設定にしてください。

下記は、192.168.1.0~255のIPアドレスからアクセスを許可する設定例です。

[スコープ]タブを選択し、リモートIPアドレスの「これらのIPアドレス」のラジオボタンをクリックし、 「追加」を選択します。

Commons Daemon Servio	e Runne	rのプロパティ ×
全般 プログラムおよびサービス リモート コ スコープ 詳細設定 ローカル ブ	コンピューター リンシパル	プロトコルおよびポート リモート ユーザー
ローカル IP アドレス ● 任意の IP アドレス(N) これらの IP アドレス(T):		
		ロ(<u>D</u>) 集(<u>E</u>) 徐(<u>R</u>)
リモート IP アドレス (任意の IP アドレス(Y) (これらの IP アドレス(<u>H</u>):		tho 集(① (金(M)
	11.17	
ОК	キャンセノ	レ 適用(A)

このIPアドレスまたはサブネットの欄に、許可したいIPアドレス、もしくはIPレンジを指定し、「OK」を 選択してください。

IP アドレス	×
一致させる IP アドレスを指定してください:	
⑤ この IP アドレスまたはサブネット(A):	
192.168.1.0/255.255.255.0	1
(例: 192.168.0.12 192.168.1.0/24 2002:9d3b:1a31:4:208:74ff:fe39:6c43 2002:9d3b:1a31:4:208:74ff:fe39:0/112	
○ この IP アドレスの範囲(R):	
下限(F):	
上限(T):	
○ 事前定義されたコンピューター セット(P):	
デフォルト ゲートウェイ 🗸 🗸	
OK キャンセル	,

指定が反映されたのを確認してください。

「適用(A)」を選択後、「OK」を選択して、設定内容を反映し終了します。

Commons Daemon Service	Runner	のプロパティ ×
全般 プログラムおよびサービス リモート コン スコープ 詳細設定 ローカル プリン	ピューター /シパル	プロトコルおよびポート リモート ユーザー
ローカル IP アドレス ● 任意の IP アドレス(N) これらの IP アドレス(D):		
	追加	1(<u>D</u>)
	編集	<u>(E)</u>
	肖·Jß;	余(<u>R</u>)
 ● 任意の IP アドレス(Y) ● これらの IP アドレス(H): 102 168 10/255 255 255 0 		to
192.168.1.0/255.255.255.0	追	bo
	編集	Ę(Į)
	间肠	k(<u>M</u>)
ОК	キャンセル	》 適用(A)

ファイアウォールの設定は以上です。

[1] クライアント端末からVEXサーバ端末へのアクセスを有効にする

「スタート」ボタンを右クリック>「コントロールパネル」を選択してください。



「システムとセキュリティ」を選択してください。





「Windowsファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可」を選択してください。



図のウインドウが開きましたら、「設定の変更」をクリックし、右下の「別のアプリの許可(R)」を選択 してください。

🔐 許可されたアプリ		-		×
← → ~ ↑ 💣 « Windows ファイアウォール > 許可されたアプリ 🗸 ∨	טאעב 🗗	ール パネルの検索	R	P
アプリに Windows ファイアワオール経由の通信を許可する	51 ± ±			
計判されたアプリのよび小下で進加に変更、よたは削除するには、[認定の変更] をクリアク	/689.			
アノリに通信を計可する危険性の評価		設定の変更(N)		
許可されたアプリおよび機能(A):				
名前	プライベート	パブリック ^		
☑ 3D Builder				
□ BranchCache - コンテンツ取得 (HTTP を使用)				
□ BranchCache - ピア検出 (WSD を使用)				
□ BranchCache - ホスト型キャッシュ クライアント (HTTPS を使用)				
□ BranchCache - ホスト型キャッシュ サーバー (HTTPS を使用)				
Delivery Optimization				
☑ DIAL プロトコル サーバー				
Get Office	✓			
Get started				
□ iSCSI サービス				
Media Center Extender				
Microsoft Edge		v v		
	詳細(L)	削除(M)	l.	
	別のア	プリの許可(R)		
	OK	キャンセル		

「参照(B)」を選択します。

アプリの追加	×
追加するアプリを選択するか、または一覧表示されていないものについては [参! して検索して、[OK] をクリックしてください。	照] をクリック
アプリ(P):	
/ᡭス(A):	参照(B)
<u>アプリのブロックを解除するリスク</u>	
このアプリを追加するネットワークの種類を選択できます。	
ネットワークの種類(N) 追加	キャンセル

Tomcatのディレクトリのbinフォルダ内を開き「tomcat9.exe」を選択、「開く(O)」を選択します。

₩ 参照				×
\leftrightarrow \rightarrow \neg \uparrow \blacksquare « UBsecure » VEX » tomcat » bin	~	ひ binの検索		Q
整理 ▼ 新しいフォルダー				
- Program Files 🔺 名前	^			
Common File. 💊 tomcat9				
CUAssistant vex_tomcatw				
Internet Explc				
ModifiableWi				
rempl				
UBsecure				
VEX				
bin bin				
Jabberwoo				
jre				
pgsql				
tomcat				
🔄 bin				
conf				
□ lib				>
ファイル名(N): tomcat9		~ アプリケーショ	ヨン (*.exe;*.com;	*.icd ~
		開<(O)) ++)	セル
				,d

MEMO

・インストール時にVEXのインストール場所を変更していない場合は、

「C:\Program Files\UBsecure\VEX\tomcat\bin」を参照してください。

「Commons Daemon Service Runner」が選択されていることを確認後、「ネットワークの種類(N)」を 選択します。

アプリの追加 ×
追加するアプリを選択するか、または一覧表示されていないものについては [参照] をクリック して検索して、 [OK] をクリックしてください。 アプリ(P):
Scommons Daemon Service Runner
パス(A): C:¥Program Files¥UBsecure¥VEX¥tomcat¥bin¥ton 参照(B)
アプリのブロックを解除するリスク
このアプリを追加するネットワークの種類を選択できます。
ネットワークの種類(N) 追加 キャンセル

「プライベート(P)」を選択し、「OK」を選択します。



「追加」をクリックします。

アプリの追加	×
追加するアプリを選択するか、または一覧表示されていないものについては して検索して、[OK] をクリックしてください。	[参照] をクリック
アプリ(P):	
🍗 Commons Daemon Service Runner	
パス(A): C:¥Program Files¥UBsecure¥VEX¥tomcat¥bin¥ton	参照(B)
アプリのブロックを経除すろリスク	
マのマゴリた 真和 ナマウットロークの 新知 た 潮田 ひきます	
このアフリビ追加するホフトワーンの注釈を選択できます。	
ネットワークの種類(N) 追加	キャンセル

「OK」を選択してください。



プライベート内でのTomcatへのWindowsファイアウォール経由の通信許可設定は

以上です。IP指定での接続を許可する場合は、次の方法を参考にしてください。

「スタート」ボタンを右クリック>「コントロールパネル」を選択してください。

「Windowsファイアウォール」>「詳細設定」をクリックします。

← → • ↑ 🔗 « システムとセ	キュリティ > Windows ファイアウォール	v ē	コントロール パネルの物	_{魚索} 、
コントロール パネル ホーム	Windows ファイアウォールによる P	Cの保護		
Windows ファイアウォールを介した アプリまたは機能を許可	Windows ファイアウォールによって、ハッカーま を経由したアクセスを防止できるようになります 	たは悪意のあるソフトウ: -。	エアによるインターネッ	トまたはネットワーク
👂 通知設定の変更	🖉 🅑 プライベート ネットワーク(F	k)	接続され	ていません 🤇
Windows ファイアウォールの有効 化または無効化	ネットワーク上のユーザーとデバイスを認識お	よび信頼している、ホーム	または社内ネットワー	2
▶ 既定値に戻す	Windows ファイアウォールの状態:	有効		
詳細設定 ネットワークのトラブルシューティング	着信接続:	許可されたアフ 続をブロックす	プリの一覧にないアプ う	リへのすべての接
	アクティブなプライベート ネットワーク:	なし		
	通知の状態:	Windows ファ たときに通知る	ァイアウォールが新しい を受け取る	アプリをブロックし
関連項目 ヤキュリティとメンテナンス	ダ ゲストまたはパブリック ネ	ットワーク(P)		接続済み 🔇
ネットワークと共有ヤンター				

セキュリティが強化されたWindowsファイアウォールが開きます。

「受信の規則」をクリックしてください。

🔗 セキュリティが強化された Windows ファイ	イアウォール				×
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ((H)				
🔐 ローカル コンピューター のセキ. ローカル コン	ンピューター のセキュリティが強化された Windows ファイアウォール	掃	作		
	セキュリティが強化された Windows ファイアウォールは、Windows コンピューターにネットワーク セキュリティを提供します。	^	ーカル コンピュータ ポリシーのイン	'ー のセキュ ポート フポート	ıIJ ▲
概要	∿ ታበን≂ብ⊪		既定のポリシ	-の復元	
w 💿	Windows ファイアウォールは有効です。 Bill/ニーデリーナン Weiを中述ないサーマールトキャー		診断と修復 表示		•
○ 非	現代に一致しない送信接続は許可されます。 現則に一致しない送信接続は許可されます。		最新の情報に	更新	
プライ	バベート プロファイル] プロパティ		
② W ○ 規 ② 规	Windows ファイアウォールは有効です。 現則に一致しない受信接続はブロックされます。 現則に一致しない送信接続は許可されます。	2	ヘルプ		
パブリ ② W 〇 移 ② 移	リック プロファイルがアクティブです Windows ファイアウォールは有効です。 現即に一致しない受信接続はブロックされます。 現即に一致しない送信接続は計可されます。				
< >>	Windows ファイアウォールのプロパティ	~			

「Commons Daemon Service Runner」が複数表示されています。

これは、プライベートとドメイン指定の二つの接続エリアに対してTCP/UDPを選択して接続設定ができるためで、異常ではありません。

💣 セキュリティが強化された Win	ndows ファイアウォール											-		Х
ファイル(F) 操作(A) 表示(V	/) ヘルプ(H)													
🗢 🍬 🞽 📰 🗟 🛛														
🔗 ローカル コンピューター のセキ:	受信の規則										1	彙作		
1000 受信の規則 1000 詳信の規則	名前	グループ	プロファイル	有効	操作	優先	プロ	ローカル アドレス	リモート アドレス	プロトコル	^	受信の規則		•
■ 医信の死刑 ■ 接続セキュリティの規則	🐼 Commons Daemon Service Runner		プライベート	はい	許可	いいえ	C:¥P	任意	任意	UDP		🦉 新しい規則.		
> 🔜 監視	Commons Daemon Service Runner		プライベート	はい	許可	いいえ	C:¥P	任意	任意	TCP		70774117	จารแส-	
	Commons Daemon Service Runner		ドメイン	いいえ	許可	いいえ	C:¥P	任意	任意	UDP			-	į
	Commons Daemon Service Runner		ドメイン	いいえ	許可	いいえ	C:¥P	任意	任意	TCP		☆ 状態で거ル	~-~	•
	BranchCache コンテンツ取得 (HTTP	Bran	すべて	いいえ	許可	いいえ	SYS	任意	任意	TCP	1	🍸 グループでフィ	ロター	- ▶
	BranchCache ピア検出 (WSD-受信)	Bran	すべて	いいえ	許可	いいえ	%sy	任意	ローカル サブネット	UDP		表示		-
	BranchCache ホスト型キャッシュ サーバ	Bran	すべて	いいえ	許可	いいえ	SYS	任意	任意	TCP				
	Optimization (TCP-In)	Deliv	すべて	はい	許可	いいえ	%Sy	任意	任意	TCP		Q 食新の情報	に更新	
	Delivery Optimization (UDP-In)	Deliv	すべて	はい	許可	いいえ	%Sy	任意	任意	UDP		🔒 一覧のエクス	スポート	
	🕑 DIAL プロトコル サーバー (HTTP 受信)	DIAL	プライベート	はい	許可	いいえ	Syst	任意	ローカル サブネット	тср	11	2 ヘルプ		
	☑ DIAL プロトコル サーバー (HTTP 受信)	DIAL	FXYZ	はい	許可	いいえ	Syst	任意	任意	ТСР	~ '			
< >	<									>				
	<u>.</u>													

___ プロファイルが「**プライベート**」でプロトコルがTCPの「Commons Daemon Service Runner」を選択 状態にして、右クリック>「プロパティ」を選択してください。

ファイル(F) 操作(A) 表示(N	/) ヘルプ(H)											
Þ 🔿 🙍 📰 🗟 🖌												
P ローカル コンピューター のセキ:	受信の規則									操	作	
受信の規則 学行の規則	名前	グループ プロファイル	有効	操作	優先	プロ	ローカル アドレス	リモート アドレス	วือหวม ^	×	信の規則	•
Mage 1211111111111111111111111111111111111	🔮 Commons Daemon Service Runner	プライベート	はい	許可	いいえ	C:¥R	任意	任意	UDP	1	新しい規則	
▶ 1. 監視	Ocommons Daemon Service Runner		141.5	許可	いいえ	C:¥P	任意	任意	TCP		7 มีอว _ร ิศมชังห.	
	Commons Daemon Service Runner	規則の無効1℃(1)		許可	いいえ	C:¥R	任意	任意	UDP			
	Commons Daemon Service Runner	切り取り(T)		許可	いいえ	C:¥P	任意	任意	TCP	<u> </u>	1人服でノリルター	,
	BranchCache コンテンツ取得 (HTTP	34-(C)		許可	いいえ	SYS	任意	任意	TCP		クループでフィルタ	- •
	BranchCacheピア検出 (WSD-受信)	- () 制除(D)		許可	いいえ	%sy	任意	ローカル サブネット	UDP		表示	•
	BranchCache ホスト型キャッシュ サーバ	HEINT(D)		許可	いいえ	SYS	任意	任意	TCP		● 長彩の注むに再	(#¢
	Delivery Optimization (TCP-In)	プロパティ(R)		許可	いいえ	%Sy	任意	任意	TCP			.791
	Delivery Optimization (UDP-In)	A # プロロ		許可	いいえ	%Sy	任意	任意	UDP		▶ 一覧のエクスボー	·
	🕑 DIAL プロトコル サーバー (HTTP 受信)	/J//(H)		許可	いいえ	Syst	任意	ローカル サブネット	TCP	2	ヘルプ	
	🔮 DIAL プロトコル サーバー (HTTP 受信)	DIAL ドメイン	はい	許可	いいえ	Syst	任意	任意	тср 🗸			
>	<								>		ommons Daemon	🔺

アクセスを許可するネットワーク範囲をご利用の環境に合わせて選択します。

✓Check! ・任意のコンピュータからアクセス可能な設定は、外部からVEXサーバにアクセス可能な状態になるため、セキュリティ上推奨致しません。

VEXを利用するクライアントからのみアクセス可能な設定にしてください。

下記は、192.168.1.0~255のIPアドレスからアクセスを許可する設定例です。

[スコープ]タブのリモートIPアドレス内の「これらのIPアドレス(H)」を選択し、「追加」を選択してください。

Commons Daemo	n Service Run	inerのプロパき	דً≺		>
全般	プログラ	ムおよびサーと	ג	IJ£−ŀ	コンピューター
プロトコルおよびボ-		詳細設定	0-カル	ブリンシバル	リモート ユーザー
ーローカル IP アド ● 行 して こ	・レス E意の IP アドし れらの IP アド	レス(N) レス(T):			
				追加(D)	
				編集(E)	
				— 削除(R)	
リモート IP アド	ν				
	£意の IP アドし れらの IP アド	レス(Y) レス(H):			
				追加	
				編集(1)	
				— 削除(M)	
	_		-		
		ОК	4	キャンセル	適用(A)

このIPアドレスまたはサブネットの欄に、許可したいIPアドレスもしくはIPレンジを指定し、「OK」を選 択してください。

IP アドレス	×
一致させる IP アドレスを指定してください:	
● この IP アドレスまたはサブネット(A):	
192.168.1.0/255.255.255.0	1
例: 192.168.0.12 192.168.1.0/24 2002:9d3b:1a31:4:208:74ff:fe39:6c43 2002:9d3b:1a31:4:208:74ff:fe39:0/112	-
○ この IP アドレスの範囲(R):	
下限(F):	
上限(T):	
○ 事前定義されたコンピューター セット(P):	
デフォルト ゲートウェイ 🗸 🗸	
OK キャンセル	,

指定が反映されたのを確認してください。

「適用(A)」を選択後、「OK」を選択して、設定内容を反映し終了します。

Commons Daem	on Service Rur	nnerのプロパき	₹1		×
全般 プロトコルおよびポ	プログラ ニート スコープ	ムおよびサービ 詳細設定	、 ス ローカル	リモート: ノブリンシパル	コンピューター リモート ユーザー
	ドレス 任意の IP アドI これらの IP アド	レス(N) レス(T):		追加(D) 編集(E)	
-yモ−ト ⊮ ፇł 	ドレス 任意の IP アド これらの IP アド 192.168.1.0/2!	レス(Y) レス(H): 55.255.255.0		削除(R) 追加… 編集(D… 削除(M)	
		OK	4	キャンセル	適用(A)

[1] クライアント端末からVexサーバ端末へのアクセスを有効にする

「サーバー マネージャー」>「ツール」>「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール」を 選択してください。

P	サーバー マネージャー	
	マネージャー・ダッシュボード ・ 🕝 🚩 📴(M)	<mark>ツール(T)</mark> 表示(V) ハルプ(H)
III ダッシュポード I ローカルサーバー III すべてのサーバー III ファイルサービスと記憶域… ♪	サーバーマネージャーへようこそ Cのローカル サーバーの構成 2 役割と機能の追加 	ISCSI イニシエーター ODBC データ ソース (32 ビット) ODBC データ ソース (64 ビット) Windows PowerShell Windows PowerShell (X86) Windows PowerShell ISE Windows PowerShell ISE (X86) Windows Server バックアップ Windows XギーI絶好
	3 管理するサーバーの追加 最新情報(W) 4 サーバー グループの作成	イベント ビューアー コンピューターの管理 コンポーネント サービス サービス システム構成 システム情報 セキュリティが強化された Windows ファイアウォール
	役割とサーバー グループ 役割の数:1 ↓ サーバーグループの数:1 ↓ サーバーの合計数:1 アイル サービスと記憶 1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	セキュリティの構成ウィザード タスク スケジューラ ドライブのデフラヴと最速化 パフォーマンス モニター リソース モニター ローカル セキュリティ ポリシー

左メニューの「受信の規則」を選択>メニューの操作から「新しい規則」を選択してください。

2	セキュリティが強化された Wind	dows ファイアウォール	_ D X
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	へレプ(H)		
	受信の規則		操作
1000 安信の規則 111 安信の規則	名前	グループ ^	受信の規則
▲ 接続セキュリティの規則	■ BranchCache コンテンツ取得 (HTTP-受信)	BranchCache - コンテンツ取	🏭 新しい規則
▷ 🌉 監視	BranchCache たスト型キャッシュ サーバー (BranchCache - とア検出 (BranchCache - ホスト型キャ	🍸 プロファイルでフィルター 🕨 🔤
	COM+ ネットワーク アクセス (DCOM-受信)	COM+ ネットワーク アクセス	▼ 状態でフィルター ●
	◎ COM+ リモート管理 (DCOM-受信)	COM+ リモート管理	▼ グループでフィルター 🕨
	● iSCSI サービス (TCP 受信)	iSCSI サービス	表示 🕨
< III >		Netroyon 9-CX V	◎ 最新の情報に更新

ウィザードが起動します。「プログラム」を選択し「次へ」を選択してください。

<i>2</i>	新規の受信の規則ウィザード	x
規則の種類 作成するファイアウォールの規則の	種類を選択してください。	
 ステップ: 規則の種類 ブログラム 操作 ブロファイル 名前 	どの種類の規則を作成しますか? ③ クログラム(P)	k

アクセスを許可するため、プログラムを登録します。「参照」を選択してください。

2	新規の受信の規則ウィザード
プログラム この規則が一致するプログラムの完	モ全なプログラムのパスと実行可能ファイル名を指定してください。
 ステップ: 規則の種類 プログラム 操作 プロファイル 名前 	すべてのプログラムと特定のプログラムのどちらにこの規則を適用しますか? ● すべてのプログラム(A) 他の規則のプロパティにー致する、コンピューター上のすべての接続に規則を適用します。 ● このプログラムのパス(T) ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

Tomcatのディレクトリのbinフォルダ内を開き「tomcat9.exe」を選択、「開く(O)」を選択します。

<i>a</i>	開く			x
📀 🍥 ▾ 🛧 퉬 « Program Files ▸ UBs	ecure + VEX + tomcat + bin v	¢	binの検索	Q
整理 マ 新しいフォルダー			** -	0
 Program Files Common Files Internet Explorer UBsecure VEX bin Jabberwock jre pgsql tomcat 	<pre>> tomcat9 > vex_tomcatw</pre>			
ファイル名(N): tomcat9		~	プログラム (*.exe)	~
			開く(0) キャンセ	الا

MEMO

・インストール時にVexのインストール場所を変更していない場合は、

「C:\Program Files\UBsecure\VEX\tomcat\bin」を参照してください。

「次へ」を選択してください。

@	新規の受信の規則ウィザード エ
プログラム この規則が一致するプログラムの完	全なプログラムのパスと実行可能ファイル名を指定してください。
 ステップ: 規則の種類 プログラム 操作 プロファイル 名前 	すべてのプログラムと特定のプログラムのどちらにこの規則を適用しますか? ・ すべてのプログラム(A) 他の規則のプロパティに一致する、コンピューター上のすべての接続に規則を適用します。 ・ このプログラムのパス(T): MProgramFiles%#UBsecure*VEX*tomcat%bin*tomcat%exe ・ 企業path%program.exe %ProgramFiles%#browser*browser.exe

「接続を許可する」を選択し、「次へ」を選択してください。

@	新規の受信の規則ウィザード	x
操作 規則で指定された条件を接続が消	満 たす場合に、実行される操作を指定します。	
 ステップ: 規則の種類 ブログラム 津作 ブロファイル 名前 	接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか? ● 旅気を許可する(A) Pece を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。 ・ セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C) Pece を使用して認証された接続のみを含みます。 伊奈に ですっリティ体の設定と接続して、セキュリティ保護されます。 ・ カスタマス(Z) ● 接続をブロックする(K) < (戻る(B) ※へ(N) ※ キャンセグ	

「次へ」を選択してください。

<i>\</i>	新規の受信の規則ウィザード	x
プロファイル この規則が適用されるプロファイル	を指定してください。	
 ステップ: 規則の種類 プログラム 操作 プロファイル 名前 	この規則はいつ適用しますか?	

「名前(N)」に任意の名前を入力してください。ここでは、Vex Tomcatとします。

名前の入力が終了しましたら「完了」を選択してください。

 名前 この規則の名前と説明を指定してください。 ステップ: 規則の種類 マードです。
ステップ: ● 規則の種類
 ● 操作
● プロファイル 名前(N): New Toward
● 名前
説明(オブション)(D):
< 戻る(B) 完了(F) キャンセル

[1] クライアント端末からVexサーバ端末へのアクセスを有効にする

「サーバー マネージャー」>「ツール」>「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール」を 選択してください。

サーバーマネージャー			– 🗆 X
 ・	ネージャー・ダッシュボード サーバーマネージャーへようこそ 1 このローカル サーバ 2 役割と機能の追加 3 管理するサーバーの 5 このサーバーをクラブ	 (ご) ド ^{管理(M)} ボーの構成 ロ D追加 作成 フドサービスに接続する 	ツール(1) 表示(Y) ヘルプ(H) iSCSI イニシェーター Microsoft Azure サービス ODBC データ ソース (32 ビット) ODBC データ ソース (32 ビット) ODBC データ ソース (64 ビット) Windows PowerShell Windows PowerShell Windows PowerShell (X86) Windows PowerShell ISE Windows PowerShell ISE Windows PowerShell ISE Windows Server J(ツクアップ Windows Server J(ツクアップ Windows Xモリ診断 イベント ビューアー コンピューターの管理 コンポーネント サービス サービス
	詳細情報(L) 交割とサーバーグループ (文別の数:1 サーバーグループの数:1 サーバーの合計数:1	サーバー 1 墜 22ス 乗 2017/07/03 13:31	システム構成 システム情報 セキュリティが強化された Windows ファイアウォール タスク スケジューラ ディスク クリーンアップ ドライブのデフラグと最適化 パフォーマンス モニター リソース モニター ローカル セキュリティ ポリシー 印刷の管理

左メニューの「受信の規則」を選択>メニューの操作から「新しい規則」を選択してください。

💣 セキュリティが強化された Windo	ows ファイアウォール				-	×
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	ヘルプ(H) 11					
ローカル コンピューター のセキュリラ ローカル コンピューター ローカル コンピューター ローカル コンピューター ローカル コンピューター ローカル コンピューター ローカル コンピューター ローカル ローカル ローカル ローカル ロー ロ	11 受信の規則			操作		
■ 接続セキュリティの規則	名前 Commons Daemon Service Manager	グループ	プロファイJ ヘ ドメイン	受信の規則 2023 新しい規則		î
> 🌉 監視	Commons Daemon Service Manager		ドメイン パブリック	▼ プロファイルでフィルター		
	Commons Daemon Service Runner		ドメイン パブリック	 ▼ 状態でメルター ▼ グループでフィルター 		•
	Commons Daemon Service Runner Commons Daemon Service Runner		ドメイン プライベー ∨	表示		ł
<	> <		>	□ 最新の情報に更新		¥

ウィザードが起動します。「プログラム」を選択し「次へ」を選択してください。

💣 新規の受信の規則ウイザード		\times
規則の種類		
作成するファイアウォールの規則の	種類を選択してください。	
ステップ:		
● 規則の種類	どの種類の規則を作成しますか?	
 プログラム 操作 プロファイル 名前 	 ⑦ プログラム(P) プログラムの接続を制御する規則です。 ⑦ ボート(O) TCP または UDP ボートの接続を制御する規則です。 ⑦ 事前定義(E): AllJoyn ルーター Windows エクスペリエンスのために接続を制御する規則です。 ⑦ カスタム(C) カスタムの規則です。 	
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

アクセスを許可するため、プログラムを登録します。「参照」を選択してください。

💣 新規の受信の規則ウイサ	й—¥	×
プログラム この規則が一致するプログラム	の完全なプログラムのパスと実行可能ファイル名を指定してください。	
 ステップ: 規則の種類 プログラム 操作 プロファイル 名前 	すべてのプログラムと特定のプログラムのどちらにこの規則を適用しますか? ● すべてのプログラム(A) 他の規則のプロパティに一致する、コンピューター上のすべての接続に規則を適用します。 ● このプログラムのパス(T): 「 例	
	< 戻る(B) /太へ(N) > キャンセル	

Tomcatのディレクトリのbinフォルダ内を開き「tomcat9.exe」を選択、「開く(O)」を選択します。

☞ 開く					×
\leftarrow \rightarrow \checkmark \uparrow \bullet erogram Files \Rightarrow UBsecure \Rightarrow VEX \Rightarrow to	mcat → bin	√ Ū	binの検索		<i>م</i>
整理 ▼ 新しいフォルダー			-	-	?
Program Files ^ 名前 ^					
Common File. 🐚 tomcat9					
Internet Explo					
UBsecure					
VEX					
bin					
Jabberwoo					
jre					
pgsql					
tomcat					
🔄 bin					
conf					
					_
ファイル名(N):		~	ブログラム (*.exe)		\sim
			開く(O)	キャンセ	zJV

MEMO

・インストール時にVexのインストール場所を変更していない場合は、

「C:\Program Files\UBsecure\VEX\tomcat\bin」を参照してください。

「次へ」を選択してください。

💣 新規の受信の規則ウイ!	f-K	×
プログラム		
この規則が一致するプログラム	ムの完全なブログラムのパスと実行可能ファイル名を指定してください。	
ステップ:		
● 規則の種類	すべてのプログラムと特定のプログラムのどちらにこの規則を適用しますか?	
● プログラム		
● 操作	○ すべてのプログラム(A) (外の相関)のプログラム(-→ 新オス コンパットカートのオペアの接待(*相関)な適用) まオ	
● プロファイル	1回の残れのシロソナれた二致なる/コントエーターエのないとの1数時に残れる原因のため。	
● 名前	● このプログラムのパス(T):	
	%ProgramFiles%#UBsecure¥VEX¥tomcat¥bin¥tomcat9exe 参照(R)	
	例: c:¥path¥program.exe %ProgramFiles%#browser#browserexe	
		_
	〈戻る(B) 次へ(N) 〉 キャンセノ	L I

「接続を許可する」を選択し、「次へ」を選択してください。



「次へ」を選択してください。

💣 新規の受信の規則ウィザード		×
プロファイル この規則が適用されるプロファイルを	を指定してください。	
 ステック: 規則の種類 プログラム 操作 プロファイル 名前 	この規則はいつ適用しますか?	Ŀ

「名前(N)」に任意の名前を入力してください。ここでは、Vex Tomcatとします。

名前の入力が終了しましたら「完了」を選択してください。

💣 新規の受信の規則ウイ	<i>ザ</i> -ド	×
名前 この規則の名前と説明を指定	定してください。	
ス テップ:		
 規則の種類 プログラム 		
● 操作	2 * (1.0	
 プロファイル タザ 	治師(N): VEX Tomcat	
• 名前		
	〈 戻る(B)	

[2] Vexサーバ端末へのアクセスを制限する

作成したルール「Vex Tomcat」を右クリック>「プロパティ」を選びます。

🔗 セキュリティが強化された Windows	s ファイアウォール						-	×
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ^	ヽルプ(H)							
🔗 ローカル コンピューター のセキュリティን	受信の規則				操作	Ē		
2013 受信の規則	名前	グループ	^	プロファイノ ^	受付	言の規則		^
いたい しょう しんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	🖉 VEX Tomcat			すべて	1	新しい規則		
> 🗓 監視	Commons Daemon Service Manager		規則の無効化(I)			プロファイルでフィルター		•
	Commons Daemon Service Manager		切り取り(T)			状態でフィルター		
	Commons Daemon Service Runner		⊐ピ–(C)	2	- -	グループでフィルター		
	Commons Daemon Service Runner		削除(D)	2	-	*-		<u> </u>
	Commons Daemon Service Runner		10 (f= (P)	ĺ,		表小		<u> </u>
< >	<		707(74(K)	>	Q	最新の情報に更新		~
選択した項目のヘルプを表示します。			ヘルプ(H)					

アクセスを許可するネットワーク範囲をご利用の環境に合わせて選択します。

✓Check! ・任意のコンピュータからアクセス可能な設定は、外部からVexサーバにアクセス可能な状態になるため、セキュリティ上推奨致しません。Vexを利用するクライアントからのみアクセス可能な設定にしてください。

下記は、192.168.1.0~255のIPアドレスからアクセスを許可する設定例です。

[スコープ]タブのリモートIPアドレス内の「これらのIPアドレス(H)」を選択し、「追加」を選択してください。

VEX Tomcatのプロ	パティ			×
全般	プログラムおよびサーと	ג׳	IJ£-ŀ	コンピューター
	「-ト スコーノ」 詳細設定 ドレス 任意の IP アドレス(N) これらの IP アドレス(T):	ת−⊐ <i>ח</i> וו	・ フリンシバル 注自加(D)…	J£-⊦ 1-7-
<u> </u>	ドレス 任意の IP アドレス(Y)		編集(E) 削除(R)	
			<mark>追加…</mark> 編集(1)… 削除(M)	
	ОК	=	キャンセル	適用(A)

このIPアドレスまたはサブネットの欄に、許可したいIPアドレスもしくはIPレンジを指定し、「**OK」**を選 択してください。

וף אדע X
一致させる IP アドレスを指定してください:
この IP アドレスまたはサブネット(A):
192.168.1.0/255.255.255.0 (6): 192.168.0.12
192.168.1.0/24 2002:9d3b:1a31:4:208:74ff:fe39:6c43 2002:9d3b:1a31:4:208:74ff:fe39:0/112
○ この IP アドレスの範囲(R):
下限(F):
上限(T):
○ 事前定義されたコンピューター セット(P):
デフォルト ゲートウェイ 💎
OK キャンセル

「適用(A)」を選択後、「OK」を選択して、設定内容を反映し、終了します。

VEX Tomcato	のプロパテ	ſ				×
全般 プロトコルおよ	⊧びポート	プログラ, スコープ	ムおよびサーと 詳細設定	ス ローカル	リモート プリンシパル	コンピューター リモート ユーザー
-о-ли 2	IP アドレ ① 任意	ス tの IP アドI 5の IP アド	ノス(N) レス(T):			
					追加(D) 編集(E) 削除(R)	
J£−⊦I	P アドレス <u>(</u> 任意 ③ これ ^{[192}	መ IP ፖド 50 IP ፖド .168.1.0/25	ンス(Y) レス(H): i5.255.255.0		追加… 編集(D… 削除(M)	
			OK	1	キャンセル	適用(A)

[1] クライアント端末からVexサーバ端末へのアクセスを有効にする

「サーバー マネージャー」>「ツール」>「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール」を 選択してください。

🔁 サーバー マネージャー			– 🗆 X
(€) ● ▼ サーバーマス	ネージャー・ ダッシュボード	• 🕲 🖡	管理(M) <mark>ツール(T)</mark> 表示(V) ヘルプ(H)
\bigcirc \bigcirc		<u> </u>	iSCSI イニシエーター
	サーバー フラージャーヘ トラマズ		Microsoft Azure サービス
■■ ダッシュボード	リーハー マネーシャーハようこそ		ODBC データ ソース (32 ビット)
■ ローカル サーバー			ODBC データ ソース (64 ビット)
■■ すべてのサーバー		サーバーの構成	Windows PowerShell
📷 ファイル サービスと記憶域サ ▷		9 ハ の伸成	Windows PowerShell (x86)
	クイック スタート(Q)		Windows PowerShell ISE
	2 役割と機能	の追加	Windows PowerShell ISE (x86)
			Windows Server // ック /ック
	3 管理するサ-	-バーの追加	Windows メモリ部門
	最新情報(W) 4 ++- パー グリ		コハンドビューゲー
	4 9-1-910		コンポーネント サービス
	5 このサーバーマ	キクラウド サービスに接続する	+
			システム構成
	詳細情報(L)		システム情報
			セキュリティが強化された Windows ファイアウォール
	役割とサーバー グループ		タスク スケジューラ
	役割の数:1 サーバーグループの数:1 サーバーの合計数:1		ディスク クリーンアップ
			ドライブのデフラグと最適化
		コーカル サーバー 1	パフォーマンス モニター
	- 9-67		リソース モニター
	① 管理状態 ① 1	管理状態	ローカル セキュリティ ポリシー
	イベント	イベント	印刷の管理
	パフォーマンス 3 さ	サービス	
	BPA 結果	パフォーマンス	
		2DA 结里	
		DrA ngas	
		2017/07/03 13:31	
			×

左メニューの「受信の規則」を選択>メニューの操作から「新しい規則」を選択してください。

💣 セキュリティが強化された Windo	ows ファイアウォール				_	\times
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	ヘルプ(H) 11					
ローカル コンピューター のセキュリラ ローカル コンピューター ローカル コンピューター ローカル コンピューター ローカル コンピューター ローカル コンピューター ローカル コンピューター ローカル ローカル ローカル ローカル ローカル ロー ロー ロー ロー ロー	11 受信の規則			操作		
■ 接続セキュリティの規則	名前 Commons Daemon Service Manager	グループ	プロファイJ ヘ ドメイン	受信の規則 2023 新しい規則		î
> 🌉 監視	Commons Daemon Service Manager		ドメイン パブリック	▼ プロファイルでフィルター		
	Commons Daemon Service Runner		ドメイン パブリック	 ▼ 状態でメルター ▼ グループでフィルター 		•
	Commons Daemon Service Runner Commons Daemon Service Runner		ドメイン プライベー ∨	表示		ł
<	> <		>	□ 最新の情報に更新		¥

ウィザードが起動します。「プログラム」を選択し「次へ」を選択してください。

💣 新規の受信の規則ウイザード		\times
規則の種類		
作成するファイアウォールの規則の	種類を選択してください。	
ステップ:		
● 規則の種類	どの種類の規則を作成しますか?	
 プログラム 操作 プロファイル 名前 	 ⑦ プログラム(P) プログラムの接続を制御する規則です。 ⑦ ボート(O) TCP または UDP ボートの接続を制御する規則です。 ⑦ 事前定義(E): AllJoyn ルーター Windows エクスペリエンスのために接続を制御する規則です。 ⑦ カスタム(C) カスタムの規則です。 	
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

アクセスを許可するため、プログラムを登録します。「参照」を選択してください。

💣 新規の受信の規則ウイサ	й—¥	×
プログラム この規則が一致するプログラム	の完全なプログラムのパスと実行可能ファイル名を指定してください。	
 ステップ: 規則の種類 プログラム 操作 プロファイル 名前 	すべてのプログラムと特定のプログラムのどちらにこの規則を適用しますか? ● すべてのプログラム(A) 他の規則のプロパティに一致する、コンピューター上のすべての接続に規則を適用します。 ● このプログラムのパス(T): 「 例	
	< 戻る(B) /太へ(N) > キャンセル	

Tomcatのディレクトリのbinフォルダ内を開き「tomcat9.exe」を選択、「開く(O)」を選択します。

☞ 開く					×
\leftarrow \rightarrow \checkmark \uparrow \bullet erogram Files \Rightarrow UBsecure \Rightarrow VEX \Rightarrow to	mcat → bin	√ Ū	binの検索		<i>م</i>
整理 ▼ 新しいフォルダー			-	-	?
Program Files ^ 名前 ^					
Common File. 🐚 tomcat9					
Internet Explo					
UBsecure					
VEX					
bin					
Jabberwoo					
jre					
pgsql					
tomcat					
🔄 bin					
conf					
					_
ファイル名(N):		~	ブログラム (*.exe)		\sim
			開く(O)	キャンセ	zJV

MEMO

・インストール時にVexのインストール場所を変更していない場合は、

「C:\Program Files\UBsecure\VEX\tomcat\bin」を参照してください。

「次へ」を選択してください。

💣 新規の受信の規則ウイザ	- ř	×
プログラム この規則が一致するプログラム	の完全なプログラムのパスと実行可能ファイル名を指定してください。	
 ステッチ: 規則の種類 プログラム 操作 プロファイル 名前 	 すべてのプログラムと特定のプログラムのどちらにこの規則を適用しますか? すべてのプログラム(A) 他の規則のプロパティに一致する、コンピューター上のすべての接続に規則を適用します。 のプログラムのパス(T): MProgramFilesX#UBsecure¥VEX*tomcat¥bin¥tomcat9.exe @ ci*path¥program.exe %ProgramFilesX#browser¥browser exe く戻る(B) 次へ(N) たっとた。 	ŀ

「接続を許可する」を選択し、「次へ」を選択してください。



「次へ」を選択してください。

鹶 新規の受信の規則ウィザード		×
プロファイル この規則が適用されるプロファイルを	を指定してください。	
ステック: ・規則の種類 ・プログラム ・操作 ・プロファイル ・名前	この規則はいつ適用しますか? 」ドメイン(D) コンピューターがその企業ドメインに接続しているときに適用されます。 ブライベート(P) コンピューターが自宅や職場などのブライベートネットワークに接続しているときに適用されます。 ノパブリックク(D) コンピューターがパブリックネットワークに接続しているときに適用されます。 く戻る(B) 次へ(N)> キャンセル	

「名前(N)」に任意の名前を入力してください。ここでは、Vex Tomcatとします。

名前の入力が終了しましたら「完了」を選択してください。

鹶 新規の受信の規則ウイザード		×
名前 この規則の名前と説明を指定してくだ	さい。	
入テップ:		
 規則の種類 プログラム 		
● 操作	7.440.0	
 プロファイル タサ 	VEX Tomcat	
● 沿則	説明 (オプション)(D):	
	< 戻る(B) <u>完了(F)</u> キャンセ	214

[2] Vexサーバ端末へのアクセスを制限する

作成したルール「Vex Tomcat」を右クリック>「プロパティ」を選びます。

🔗 セキュリティが強化された Window	s ファイアウォール						-	×
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ^	ヽルプ(H)							
🔗 ローカル コンピューター のセキュリティ	受信の規則				操作	Ē		
100 受信の規則 100 送信の規則	名前	グループ	^	プロファイノ ^	受付	言の規則		^
■ 医信の元月 ■ 接続ヤキュリティの規則	🖉 VEX Tomcat	_		すべて	1	新しい規則		
> 🔜 監視	Commons Daemon Service Manager		規則の無効化(I)			プロファイルでフィルター		•
	Commons Daemon Service Manager		切り取り(T)			状態でフィルター		
	Commons Daemon Service Runner		⊐ピ–(C)	2	- -	グループでフィルター		
	Commons Daemon Service Runner		削除(D)	2	-	*-		<u> </u>
	Commons Daemon Service Runner		プロパティ(P)	· ~		衣小 しきわいまた		<u> </u>
< >	<		2 G/() (K)	 >	Ø	飯新の情報に更新		~
選択した項目のヘルプを表示します。			ヘルプ(H)					

アクセスを許可するネットワーク範囲をご利用の環境に合わせて選択します。

✓Check! ・任意のコンピュータからアクセス可能な設定は、外部からVexサーバにアクセス可能な状態になるため、セキュリティ上推奨致しません。Vexを利用するクライアントからのみアクセス可能な設定にしてください。

下記は、192.168.1.0~255のIPアドレスからアクセスを許可する設定例です。

[スコープ]タブのリモートIPアドレス内の「これらのIPアドレス(H)」を選択し、「追加」を選択してください。

VEX Tomcatのプロ	パティ			×
全般	プログラムおよびサーと	ג׳	IJ£-ŀ	コンピューター
□-カル IP ア ● ● つ	(-ト スコーノ) 詳細設定 ドレス 任意の IP アドレス(N) これらの IP アドレス(T):	ת−⊐ <i>ח</i> וו	, フリンシバル 注声加(D)	J£-⊦ 1-7-
<u> </u>	ドレス 任意の IP アドレス(Y)		編集(E) 削除(R)	
			<mark>追加…</mark> 編集(1)… 削除(M)	
	ОК	=	キャンセル	適用(A)

このIPアドレスまたはサブネットの欄に、許可したいIPアドレスもしくはIPレンジを指定し、「**OK」**を選 択してください。

IP アドレス	×
一致させる IP アドレスを指定してください:	
この IP アドレスまたはサブネット(A):	1
192.168.1.0/255.255.255.0 何! 192.168.0.12 192.168.1.0/24 2002:9d3b:1a31:4:208:74ff:fe39:6c43 2002:9d3b:1a31:4:208:74ff:fe39:0/112	1
○ この IP アドレスの範囲(R):	
下限(F):	
上限(T):	
○ 事前定義されたコンピューター セット(P):	
デフォルト ゲートウェイ 🗸 🗸	
OK キャンセル	

「適用(A)」を選択後、「OK」を選択して、設定内容を反映し、終了します。

VEX Tomcato	のプロパテ	ſ				×
全般 プロトコルお。	⊧びポート	プログラ スコープ	ムおよびサーと 詳細設定	ス ローカル	リモート プリンシパル	コンピューター リモート ユーザー
-о-ди •	IP アドレ ① 任意	ג :の IP アドו 5の IP アド	ノス(N) レス(T):			
					追加(D) 編集(E) 削除(R)	
J£−⊦I	P アドレス <u>(</u> 任度 ③ これ ^{[192}	: መ IP アド 50 IP 7ド .168.1.0/25	ンス(Y) レス(H): i5.255.255.0		追加… 編集(D… 削除(M)	
			OK	3	キャンセル	適用(A)

バージョンアップ対象のバージョンからのバージョンアップは、本手順をご確認ください。



MEMO

・通常のバージョンアップだけでなく、緊急リリース対応時や、ミドルウェア更新の際のリリース時などにもご利用いただきます。

・バージョンアップではなく、新規インストールを実行したい場合は、Vexを一度アンインストールする 必要がございます。詳しくは、11.アンインストール手順をご参照ください。

[重要] バージョンアップ時の注意事項

• Vex Controllerを起動している場合は、バージョンアップを行う前に必ず、ウインドウを閉じてく ださい。

Vex Controllerが起動した状態でバージョンアップを行うと、バージョンアップに失敗する可能性が あります。

・ ・ ・	×
Status: 実行中	起動している場合は、 必ず終了してください
起動 停止 再起	動

・ウイルス対策ソフト等の常駐型監視サービスが動作している場合、バージョンアップに失敗する可能性がございます。
 バージョンマップの際は、常駐型監視サービスの停止をしてください。

バージョンアップの際は、常駐型監視サービスの停止をしてください。

[1]「次へ」をクリックします。

i Vex セットアップ	_		×
Vex バージョンの確認 バージョンアップの対象となる Vex のバージョンを確認してください。		Í	7
Vex がインストールされています。 Vex ヘバージョンアップしますが、よろしいですか?			
続行するには「次へ」をクリックしてください。			
< 戻る(B) 次へ(M	l) >	キャン	セル

[2] 追加タスクの選択を指定し、「次へ」をクリックします。

🕞 Vex セットアップ		—		\times
追加タスクの選択 実行する追加タスクを選択してください。				
Vex インストール時に実行する追加タスクを遵	課して、「次へ」をクリック	してください	,۱۵	
アイコンを追加する: 「「デスクトップ上にアイコンを作成する(D)				
<	戻る(B) 次へ(N)	>	キャンセ	2,16

[3] インストール設定情報を確認し、「インストール」をクリックします。

Vex セットアップ		_		×
インストール準備完了 ご使用のコンピュータへ Vex をインストールする準	備ができました。			
インストールを続行するには「インストール」を、設 りしてください。	定の確認や変更を行	うには「戻	්ට වේග	
インストール先: C:¥Program Files¥UBsecure¥VEX			^	
追加タスクー覧: アイコンを追加する: デスクトップ上にアイコンを作成する(D)				
<			>	
< 戻る	5(B) インストー		キャンセ	276

インストールが完了するまで、しばらくお待ちください。

i Vex セットアップ	—		\times
インストール状況 ご使用のコンピューターに Vex をインストールしています。 しばらくお	诗ちください。	Í	
ファイルを展開しています C:¥Users¥ubsecure¥AppData¥Local¥Temp¥is-VUMTF.tmp¥net_	framework_	45.exe	
		キャント	2)1/
- インストールの途中のキャンセルは出来ません。
- インストール実行中、以下のアラートボックスが表示されますが、自動的に閉じるためそのままお 待ちください。



[4] インストールの完了



- 以上で、Vexのバージョンアップは完了です。
- 続けて、「バージョンアップ後の確認作業」に進んでください。

8.2. バージョンアップ後の確認作業

Vexが正常にインストールされていることを確認するため、Vexのユーザ画面でログインを実施します。

[1] ユーザログイン画面の表示

ブラウザを起動し、以下のURLを入力します。

http://localhost:8080/Jabberwock/index.jsp

※localhostは環境に応じて書き換えてください。

· 般ユーザロ!	
ユーザID:	
パスワード:	
言語:	日本語
	ログイン
面サイブは13	66ピカヤル×768ピカヤルです。

√Check!

- ログインURLは、大文字や小文字も含めて正確に入力する必要があります。
 エラー画面が応答する場合、ログインURLに誤りがある可能性がございますので、再度ご確認ください。(Jが小文字である、iが大文字である等)
- Vexは8080番以外のポートでは正常に動作しないため、ポートの変更は出来ません。

[2] ログインの実施

登録されているユーザで、ログインが出来る事を確認します。 ログイン出来る事が確認出来ましたら、バージョンアップは完了です。

9. Vex Controllerについて

Vex Controllerでは、Vexの制御、各種ログの収集などが実行可能です。

9.1. 起動方法

[1] スタートメニューより起動

「スタートメニュー」>「すべてのプログラム」>「UBSecure」>「**VEX**」から起動可能です。



MEMO

・「UBSecure」の部分は、インストール時に「プログラムグループ」に指定した文字列です。

[2] プログラムを直接起動

Vex Controllerは、下記のファイルから起動可能です。

<Vex Controllerの場所>

<u>C:\Program Files\UBsecure\Vex\bin</u>(デフォルト設定の場合)

ファイル名: <u>Vex.exe</u>



9.2. Vex Controller操作画面

[1] 一般タブ

一般タブでは、Vexの制御を行います。



<statusの説明></statusの説明>		<ボタンの説明>		
Status	状態	ボタン名	機能	
実行中	Vexが動作しています。	起動	Vexを起動します。	
停止 Vexが停止しています。		停止	Vexを停止します。	
		再起動	Vexを再起動します。	

MEMO

・Vexの動作が重い場合や、設定ファイルを変更する際などの再起動時に利用します。

[2] ツールタブ

ツールタブでは、Vexが出力する各種ログの収集を行います。

🚫 Ve	x Contro	ller	-		×
一般	ツール	設定			
ログル	収集——				
取得	対象期間	罰⟨時間⟩:	48	収集開	始

MEMO

- ・「取得対象期間」に設定した時間内に更新されたログを収集します。
- ・Vexサポートに問い合わせの際に、ログのご提供をお願いすることがあります。

<ファイル出力例>

出力情報がデスクトップに表示されます。

情報	×		
2019/08/13 12:33:43 INFO: 処理が9 結果は以下の様になります。	き了しました。		
Vexパージョン情報:○ Tomcatログ:○ PostgreSQLログ:○ VexInstallerログ:○	Collect Log For Vex Support		×
Vexコマントインストーラロク:○ Vexインストールヘルパーログ:○ Vexアップデータログ:○ Vex_クライアントログ:○ Vex_Android静的解析ログ:×	結果 2019/08/13 12:33:42 INFO: 収集を開始します。 2019/08/13 12:33:42 INFO: Vexバージョンの取得た 2019/08/13 12:33:43 INFO: Tomcatログの収集が3	が完了しました。	^
収集したファイルは以下のフォルダに配 C:¥Users¥ubsecure¥Desktop¥vexk	2019/08/13 12:33:43 INFO: Postgresログの収集力 2019/08/13 12:33:43 INFO: Vexのインストールログ 2019/08/13 12:33:43 INFO: Vexのアップデートログ 2019/08/13 12:33:43 INFO: Vexのアップデートログ 2019/08/13 12:33:43 INFO: Vexのクライアントログの 2019/08/13 12:33:43 INFO: Android静的解析ログ CHV/EX/log*cnark.log	2月7しました。 の収集が完了しました。 の収集が完了しました。 の収集が完了しました。 の収集が完了しました。 が存在しません。	
	2019/08/13 12:33:43 INFO: 収集を終了します。		
		同じな	~
		14100	

デスクトップ上に、以下のログフォルダ(vexlog_xxxxxxxxxxxxxx)が作成されます。



MEMO

・出力されるログは、Vexのご利用状況により変化します。

[3]設定タブ

設定タブでは、Tomcatの設定を行います。

🚱 Vex Controller	_		\times
一般 ツール 設定			
Tomcatの割り当てメモリ			
Maximum heap size:		2048	MB
		変更	
スタートアップの種類 手動	~	変更	

MEMO

・「Vexの動作が重い」など、動作に問題がある場合は、Tomcatの割り当てメモリを増加することで、V exの動作が改善する可能性がございます。

尚、本設定はJVMの最大ヒープ領域を指定するものであり、システム全体のメモリ使用量を設定する項目 ではございません。

<推奨メモリサイズ>

Vexインストール端末に搭載されている物理メモリの半分を設定することを推奨します。

10. その他の設定

本章の設定項目に関しては任意ですが、ご利用状況により設定していただくことを推奨いたします。

√Check!

•本章で紹介する設定項目以外は、各設定ファイルを変更しないようにしてください。

10.1. Vex最大利用メモリの設定

「Vexの動作が重い」など、動作に問題がある場合は、Tomcatの割り当てメモリを増加することで、Vex の動作が改善する可能性がございます。 尚、本設定はJVMの最大ヒープ領域を指定するものであり、シス テム全体のメモリ使用量を設定する項目ではございません。

[1] Vexコントローラの「設定」タブを開きます。

🚱 Vex Controller			\times
一般 ツール 設定			
Tomcatの割り当てメモリ			
Maximum heap size:		2048	MB
		変更	
スタートアップの種類			
手動	\sim	変更	

MEMO

- 「Maximum heap size」の初期設定値は「2048MB」となります。
- バージョンアップした場合は、バージョンアップ前の設定値が引き継がれます。

[2] 「Maximum heap size」の値を変更します。

Vexインストール端末に搭載されている物理メモリの半分を設定することを推奨します。

□ 自動巡回機能を利用する場合は2048MB以上を推奨します。

□ インストールサーバのメモリが少ない場合(1GB以下または、メモリを大量に消費するアプリケーションがインストールされているなど)、メモリをTomcatに多く割り当て過ぎると正常に動作しない可能 性があります。

設定値を変更し、「**変更」**ボタンをクリックします。

🚱 Vex Controller	—		\times
一般 ツール 設定			
Tomcatの割り当てメモリ			
Maximum heap size:		2048	MB
		変更	
- スタートアップの種類 手動	~	変更	

メモリ設定変更がされましたら、「OK」ボタンをクリックします。

情報	2
i	Tomcatのメモリ設定変更が完了しました。:2048 VEXを再起動してください。
	. ОК

[3] Vexを再起動します。

「一般」タブを開き、「再起動」ボタンをクリックします。



設定は以上です。

10.2. TomcatのPOSTデータ上限値の設定

VexのHandler機能に大きなデータを設定すると、TomcatのPOSTデータ上限値を超えてしまいエラーが発生する可能性があるため、上限値を変更します。

MEMO

・順次代入機能で大きなデータ(2MB以上)を設定しない場合、本設定は不要です。

[1] Vexを停止します。

Vexコントローラの「一般」タブを開き、「停止」ボタンをクリックします。

🚫 Ve	x Contro	ller		-		×
一般	ツール	設定				
				- •		
	:	Statu	is: 実行	τФ		
			H			
j	已動		停止		冉起動	

[2] Vexの設定ファイルを開きます。

ご利用のテキストエディタを「管理者として実行」し、以下のファイルを開きます。

<修正ファイルの場所>

C:\Program Files\UBsecure\VEX\tomcat\conf (デフォルト設定の場合)

ファイル名: <u>server.xml</u>



[3] 設定ファイルを編集します。

下記の変更後のように、該当部分にmaxPostSizeの設定を追記します。

<変更前>

```
<Connector port="8080" protocol="HTTP/1.1"
```

connectionTimeout="20000"

```
redirectPort="8443" />
```

<変更後>

```
<Connector port="8080" protocol="HTTP/1.1"
```

connectionTimeout="20000"

```
redirectPort="8443" maxPostSize="6000000" />
```

変更後、ファイルを保存します。

MEMO

・maxPostSizeを設定しない場合、POSTデータ上限値は2MBです。

[4] Vexを起動します。

「一般」タブを開き、「起動」ボタンをクリックします。

🜍 Ve	Control	oller		—		\times
一般	ツール	設定				
		Statu	ıs: 停」	Ŀ		
į	記動		停止		再起動	1
•						

設定は以上です。

10.3. PostgreSQLの設定値の変更

自動巡回を利用する場合は、PostgreSQLの設定値を変更することを推奨します。

MEMO

・自動巡回を利用しない場合、本設定は不要です。

[1] VEXで利用するPostgreSQLの設定ファイルを開きます。

ご利用のテキストエディタを「管理者として実行」し、以下のファイルを開きます。

<修正ファイルの場所>

<u>C:\VEX\data</u>(※インストール時に作成したVexのプロジェクトフォルダ)

ファイル名: <u>postgresql.conf</u>



[2] 設定ファイルを編集します。

下記の3つの項目を<変更後>のように、設定値を変更します。

<変更前>

shared_buffers = 128MB

<変更後>

shared_buffers = 512MB

<変更前>

#work_mem = 4MB

<変更後>

work_mem = 512MB

<変更前>

#effective_cache_size = 4GB

<変更後>

effective_cache_size = 500MB

変更後、ファイルを保存します。

[3] PostgreSQLを再起動します。

①Windowsの「コンピュータの管理」画面を開く

Vexで利用するPostgreSQLを再起動する

「サービス」>「**vex_postgres**」を選択し、「サービスの再起動」を実行します。

♀ サービス				
vex_postgres	名前	説明	状態	スタートアップの種類
	🔍 UPnP Device Host	この		手動
サービスの停止	🔍 User Profile Ser	この	開始	自動
サービスの一時停止	🌼 vex_postgres		開始	自動
	🌼 vex_tomcat	Apa		自動
	🌼 Virtual Disk	ディ		手動
	🍓 VMware Authori	Aut	開始	自動

MEMO

・Vexで利用するPostgreSQLのサービス名は「vex_postgres」です。

設定は以上です。

10.4. Beep音の設定

Vexでは画面イメージを自動でキャプチャする機能が備わっています。

キャプチャ取得の際に、ブラウザによって表示されるダイアログボックスによって、VEXがインストール されている端末からBeep音が頻繁に鳴る場合があります。

コントロールパネルの「サウンドとオーディオデバイス」からBeep音を制御できる場合もありますが、で きない場合はデバイスを無効化することでBeep音を制御することが可能です。

√Check!

- •本設定によりVexの動作に影響することはございません。
- •本設定実施後、VexインストールマシンはBeep音を使用することが出来なくなります。

<設定手順>

Windowsの「コンピュータの管理」画面を開きます。

「システムツール」の「デバイスマネージャ」を選択します。

メニューの「表示(V)」から、「非表示のデバイスの表示(W)」を選択します。



「プラグ アンド プレイではないドライバ」に含まれる項目を表示します。



「Beep」を右クリックし「プロパティ(R)」を選択してください。



[ドライバ]タブの「スタートアップ」を「無効」にし「OK」を選択してください。

Beepのプロパティ				×
全般 ドライバー	言羊糸田			
Beep				
サービス	名:	Веер		
表示名	(N):	Веер		
-現在の状態				
↓ ↓ 状態: 開	财治		開始(S)	停止(T)
スタートアップ				
種業類(E):	システム			
	目動 ブート			
	要求 システム			
	<u></u>			ישרד זידו דורעי
			ОК	*+>セル

設定は以上です。

11. アンインストールの手順

Vexのアンインストールは、以下の手順で実施してください。

√Check!

• アンインストールする前に、必要なデータのバックアップを行ってください。

[1] Vexで利用するサービスの停止

Vexが利用するPostgreSQL、およびTomcat のサービスを停止します。

MEMO

- Vexが利用するPostgreSQL、およびTomcatのサービス名は以下になります。
 - PostgreSQLのサービス名:vex_postgres
 - Tomcatのサービス名:vex_tomcat

①Windowsの「コンピュータの管理」画面を開く

PostgreSQLを停止する

「サービス」>「vex_postgres」を選択します。

🜆 コンピューターの管理							
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	へレプ(H)						
🗢 🄿 🖄 📰 🗔 🗟 📘	2 🗊 🕨 🔳 🕪						
コンピューターの管理 (ローカル	♀ サービス	_				操作	
	vex_postgres	名前	説明	状態	スタートアップ(^	サービス	-
▶ ● ダスクスクシューフ ▶ ■ イベント ビューアー		🔅 vex_postgres		開始	自動	他の操作	•
▶ 20 共有フォルダー	サービスの停止 サービスの一時停止	🔍 vex_tomcat	Apa	開始	自動	vex_postgres	
▷ 🌆 ローカル ユーザーとグル・	<u>リービスの一時停止</u> サービスの再起動	🔍 Virtual Disk	ディ		手動	他の操作	•
▷ 🔕 パフォーマンス		WMware Authori	Aut	開始	自動		
│ 過 デバイス マネージャー		WMware DHCP	仮想	開始	自動		
ご 18% ディスカの管理		White NAT Se	仮想	開始	目動		
■		White USB Ar	1反想	開始	日期		
▶ 🖏 インターネット インフォ:		WebClight	八ツ		于割		
🔍 サービス		Windows Astiva	win		于動		
🗃 WMI コントロール		Windows Audio	Win	ES 644	<u>于</u> 劉 白動		
		Windows Audio	Win	開始	白動		
		Windows Backup	Win		手動		
		Windows Biome	Win		手動		
		Windows CardS	デジ		手動		
		Windows Color	Wcs		手動		
		Windows Conne	wc	開始	手動 🔻		
4		•			4	-	
	\11/1版/ [標準/						

「サービスの停止」をクリックします。

🜆 コンピューターの管理								23
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	へルプ(H)							
🗢 🏟 🖄 🖬 🖬 🖬 😖	🛛 💼 🕨 🔲 🕪							
『コンピューターの管理 (ローカル	಼ サ−ビス	_				操作		
👔 システム ツール	vex postares	名前	説明	状態	スタートアップ(サービス		-
▷ U タスク スケジューフ ▷ I イベント ビューアー		🔅 vex_postgres		開始	自動	他の操作		•
▶ 10 共有フォルダー	サービスの停止	🔍 vex_tomcat	Apa	開始	自動	vex_postgres	5	
▶ 🌆 ローカル ユーザーとグル・	<u>サービスの一時停止</u> サービスの再記動	🔍 Virtual Disk	ディ		手動	他の操作		•
▷ 🔕 パフォーマンス		🔍 VMware Authori	Aut	開始	自動			
🚽 デバイス マネージャー		🔍 VMware DHCP	仮想	開始	自動			
2月記憶域		🔍 VMware NAT Se	仮想	開始	自動			
□ ご デイスクの管理 □ サービスをスプロケーション		🔍 VMware USB Ar	仮想	開始	自動			
I IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII		🔍 Volume Shadow	バッ		手動			
◎ サ −ビス		WebClient	Win		手動			
🗃 WMI コントロール		Windows Activa	Win		手動			
		Windows Audio	Win	開始	目動			
		Windows Audio	Win	開始	自動	_		
		Windows Backup	Win		手動			
		Windows Biome	Win		手動			
		Windows CardS	ナン …		于勤			
		Windows Color	WCS	886/4	于勤			
		✓ III	WI	NAUE:	4			
۰ III ا	∖拡張 ⟨標準/							

サービスが停止されるまでお待ちください。

サービス コントロール	23
ローカル コンピューター の次のサービスを停止しようとしています	
vex_postgres	
問["ろ(C)	

Tomcatを停止する

「サービス」>「vex_tomcat」を選択します。

🜆 コンピューターの管理							- 0	23
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	ヘルプ(H)							
🗢 🄿 🙍 🖬 🖬 🖬 😖 🛛	? 🗊 🕨 🔲 🛛 🕨							
コンピューターの管理 (ローカル	◎ サービス					操作		
◎ ちろちろん ツール	vex tomcat	名前	説明	状態	スタートアップ(^	サービス		•
▷ (タスク スケジューラ ▷ □ イベント ビューアー	_	🔍 vex_postgres			自動	他の操作		•
▶ 2 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	<u>サービスの停止</u>	🔍 vex_tomcat	Apa	開始	自動	vex_tomcat		
▶ 🌆 ローカル ユーザーとグル・	<u>サービスの冉起動</u> 	🌼 Virtual Disk	ディ		手動	他の操作		•
▷ 🔕 パフォーマンス		🔍 VMware Authori	Aut	開始	自動			
🛛 🚔 デバイス マネージャー	説明:	🔍 VMware DHCP	仮想	開始	自動			
	Apache Tomcat Server for VEX	🌼 VMware NAT Se	仮想	開始	自動			
■ テイスクの官埋 ■ サードストスプロケーミュン・		🔍 VMware USB Ar	仮想	開始	自動			
		🔅 Volume Shadow	バッ		手動			
0. 1 0		🔍 WebClient	Win		手動			
🗃 WMI コントロール		🔍 Windows Activa	Win		手動			
		🤹 Windows Audio	Win	開始	自動			
		Windows Audio	Win	開始	自動			
		Windows Backup	Win		手動			
		Windows Biome	Win		手動			
		Windows CardS	デジ		手動			
		Windows Color	Wcs		手動			
		Windows Conne	WC	6904	(1⊕) ●			
<u>۲ اااا</u>	│ 拡張 〈標準 /							

「サービスの停止」をクリックします。

🌆 コンピューターの管理							23
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	へレプ(H)						
🗢 🔿 🔁 🗔 🗎 🗟	🛛 📊 🕨 🔲 II 🕪						
『コンピューターの管理 (ローカル	♀ サービス					操作	
◎ タステム ツール	vex_tomcat	名前	説明	状態	スタートアップ(^	サービス	-
▷ 🕑 ダスク スケシューフ ▷ 🔲 イベント ビューアー	-	🔍 vex_postgres			自動	他の操作	•
▶ 100 キャイント・ビュー・ア	<u>サービスの停止</u>	🔍 vex_tomcat	Apa	開始	自動	vex_tomcat	
▷ 🌆 ローカル ユーザーとグル・	<u>サービスの再起動</u> 	🌼 Virtual Disk	ディ		手動	 他の操作	•
▷ 🔞 パフォーマンス		🔍 VMware Authori	Aut	開始	自動		
📇 デバイス マネージャー	説明:	🔍 VMware DHCP	仮想	開始	自動		
	Apache Tomcat Server for VEX	🔍 VMware NAT Se	仮想	開始	自動		
■ デイスクの管理		🔍 VMware USB Ar	仮想	開始	自動		
▶ ♥ インターネット インフォ		🔍 Volume Shadow	バッ		手動		
()、サービス		🔍 WebClient	Win		手動		
🗃 WMI コントロール		Windows Activa	Win		手動		
		Windows Audio	Win	開始	目動		
		Windows Audio	Win	開始	自動		
		Windows Backup	Win		手動		
		Windows Biome	Win		手動		
		Windows CardS	ナン …		于動		
		Windows Color	WCS	8864	于勤 조		
		<	WWI	THE LOCAL	4		
۰ III >	∖拡張⟨標準/						

[2] アンインストーラの実行

Vexインストールフォルダ内の、以下のアンインストーラを実行します。

<アンインストーラの場所>

<u>C:\Program Files\UBsecure\VEX</u>(デフォルト設定の場合)

ファイル名: <u>unins000.exe</u>



MEMO

- ・上記の場所にない場合は、Vexインストール時に他のフォルダが指定されています。 Vexをインストールしたフォルダに、適宜置き換えてご参照ください。
- アンインストール実施の確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。



アンインストールが開始されますので、完了するまでお待ちください。

Vex アンインストール	×
アンインストール状況 ご使用のコンピューターから Vex を削除しています。 しばらくお待ちください。	1
Vex をアンインストールしています	
	キャンセル

アンインストールが正常に完了したことを確認してください。



MEMO

- •コントロールパネル内の「プログラムの追加と削除」からもアンインストールが可能です。
- アンインストーラの実行により、Vexプログラムは削除されますが、検査結果などのデータを保存しているVexのプロジェクトフォルダは削除されません。

[3] プロジェクトフォルダの削除

アンインストールを実行するとVexプログラムは削除されますが、Vexのプロジェクトフォルダは削除され ません。

<アンインストール後に残存するファイル>

<u>C:\VEX</u>(※インストール時に作成したVexのプロジェクトフォルダ)

<u>C:\vex install log</u> (※Vexのインストール、バージョンアップ時のログを保存)

MEMO

- 「C:\VEX」には、検査データが保管されています。プロジェクト情報がエクスポート済であるな ど、検査データが不要な場合は、プロジェクトフォルダの削除を実行してください。
- ・「C:\vex_install_log」には、Vexのインストール、バージョンアップ時のログを保存しています。

不要な場合は、フォルダの削除を実行してください。

• 「C:\Program Files\UBsecure\VEX」は基本的にフォルダごと削除されますが、フォルダ内のファ イルを開いたままアンインストールを実行した場合、データが削除されずに一部残ることがありま す。必要に応じて、**手動で削除**してください。

12. セットアップ時のトラブルシューティング

セットアップ時にトラブルが発生した場合は、下記をご参照ください。

12.1. サポート対象外のバージョンからのバージョンアップ

本バージョンで提供するセットアップモジュールは、2バージョン前以降からのバージョンアップのみ対応しています。

例)Vex6.4系を利用しており、Vex6.7系へバージョンアップする場合



VEX6.7系までのバージョンアップ経路

ご利用のバージョンにより、バージョンアップを複数回実施する必要がございます。

大変お手数ですが、必要なモジュールがサポートサイトに存在していない場合、VEXサポートに、現在ご 利用のバージョンをご連絡ください。

最新バージョンまでの最短のバージョンアップ経路、および必要なモジュール提供をいたします。

13. 他社商標について

下記の他社登録商標・商標をはじめ、マニュアル等に記載されている会社名、システム名、製品名は一般 に各社の登録商標または商標です。

なお、本文および図表中では、「™」、「®」は明記しておりません。

Java 及びすべてのJava関連の商標及びロゴは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及 びその他の国における登録商標または商標です。

JDK、JREは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

iPad、iOSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

Macは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

Microsoftは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft Internet Information Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における 登録商標または商標です。

Microsoft Officeは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft Wordは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft Excelは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft .NET Frameworkは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標また は商標です。

Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

Windowsは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標です。

Windows Serverは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標です。

Windows NTは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標です。

Windows 10、Windows 8.1、Windows 7、Active Directory、Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Apache Tomcatは、Apache Software Foundationの登録商標または商標です。

PostgreSQLは、PostgreSQLの米国およびその他の国における商標です。

Firefoxの名称およびそのロゴは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Android[™]、AndroidロゴはGoogle Inc. の登録商標です。

Adobe Acrobat Reader DCは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の商標です。